京城日報

朝夕刊合せて十頁

本紙定價 一部金五錢▲一ケ月郵税共前金壹圓▲三ケ月同三圓▲六ケ月同六圓五十錢▲郵税代金一割增
廣告料金 五號十六字詰一行一圓三十錢 二號八字詰同一圓六十錢 四號十字詰同一圓
發行兼編輯人 泥谷良次郎 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 振替京城三〇〇番

[illegible]

朝鮮の地方制度社會事業並に教育宗教現狀（二）

內務局長 大塚常三郎

此結果と致しまして、地方制度の上に於きましても、一大變革を加へらるることゝなつたのであります。

從來朝鮮の地方制度は、併合の際に於て暫定的に施設せられたものでありまして、其後多少の變更はありましたが、大體に於て全鮮を十三道に分ち、道には道長官を置き、道の下に十二府、二百十八郡、二島がありまして、府尹、郡守、島司が之を管轄しました。又地方警察の機關としては各道に警務部がありまして憲兵隊の長たる者が之を管掌し、中央警務總監部に於て之を統轄する組織でありましたが、大正八年官制の改正の結果、道長官を道知事と改め、警務總監部及各道警務部を廢しまして、地方警察の權限を道知事の管轄に移し、一般行政に付ても道知事の權限を擴張して、地方分權主義の方針に改められ、更に地方制度の組織に大改革を加へられまして、將來地方自治制度を實施するの準備として各團體に民意に基く諮問機關の設置を見るに至つたのであります。即ち各道の地方費（內地の府縣費に當る）に關しては道評議會と申すものがありまして、其會員は十八人乃至三十七人を定員とし、其三分の一は道知事の任命、三分の二は府面協議會員の選擧する候補者中より任命する間接選擧式の方法に依つて任命せられ、府（內地の市に當る）及面（內地の町村に當る）には協議會がありまして、各府面人口の多寡に依りまして八人乃至三十人を定員とし、府及朝鮮總督の指定する面では之を民選とし、其他の面では官より任命します。

尙朝鮮に於きましては內地と異り內地人と朝鮮人との普通教育に付制度等の關係上、其制度を一にすることが出來ませぬ爲め學校經費に付ましては、一般行政費と區別して別々に團體を設けられてあります。即ち朝鮮人の側では各府郡島に學校費と申すものがありまして主として普通教育に關する事務を掌り、府尹、郡守、島司が之を管理致します。之には學校評議會と申す諮問機關を置き、各府の學校評議會員は府內の朝鮮人人口數に依り六人乃至二十人、郡島の學校評議會員は郡島內の面の數と同數を以て定員とし、前者は民選、後者は面協議會員を選擧人とした間接選擧の方法に依り任命することゝなつて居ります。又內地人側では學校組合と申すものがありまして學校組合に依りて設立を許すことゝし、之のみは純然たる自治制度を認められて居ります。此等各團體の財政は近年非常に發達して來ました。大正十一年度に於ける各團體財政の狀況を申上ぐれば左の如く

	總額（圓）	一團體平均（圓）
道地方費	一九、二五三、六六五	一、四八一、二二〇
府	七、二二七、八七九	六二四、八五〇
面	一六、六五四、五四一	六、六四三
學校費	一二、九一五、〇七一	五七、三六〇
學校組合	三、五〇〇、五五六	一三、九〇六
計	六〇、三二一、六七九	；

でありまして地方經費の總計六千一百萬圓餘で國費財政の一億五千八百萬圓に比較すれば約四割に當り、大正元年度の地方經費總計に比較して約七倍の大膨脹を爲した譯であります。然しながら一團體平均の經費を一瞥するときは、道に於て約百五十萬圓、府に於て約六十萬圓、學校費に於て五萬七千圓、學校組合に於て一萬四千圓でありまして、之を內地の府縣郡市町村に比較しますれば、府縣約六百萬圓、郡六萬五千圓、市約四百萬圓、町村約三萬圓を比較しますれば尙甚だ低いのであります。是は畢竟朝鮮の貧弱なる財政の程度が內地に比し劣つて居る結果でありまして、地方開發の爲め今後爲すべき施設は多くありますが、此等によりまして漸次民力を涵養し、之に伴ふ各般の施設を擴張充實せねばなりませぬ

朝鮮治安の既往と現在（二）

丸山警務局長講演の一節

當時假政府は上海佛租界に五層樓の大廈を借り入れ實に堂々たる陣營へ大金を投じて新聞を買收し盛んに氣勢を揚げたものであつた。之を第二期當時の時期とする。斯くて此等たふべき狀態であつたので外務省を煩はして假政府を撤退せしむべく佛國政府に交涉するなど種々手を盡して見たが其効が無かつた。此に於いて朝鮮から資金供給の途を杜ぐべき方法を講じたるに之には非常な効果があつた。假政府の窮迫の狀は日ならずして段々窮るしくなつて來た。加ふるに第一回の國際聯盟會議に於ても亦問題にされなかつたために假政府は甚だしく威信を失墜した爲に當時の當局者等は甚だしきに至り脅喝して金品を提供せしむる其數は少くなかつたが、其利き目も段々薄くなる暗殺が行はるゝやうになつた。

朝鮮人にして官公職に在る者に對しては日本政府の下に在るのは同胞の敵である。故に死刑に處する主に平北地方に於て被害者を出した之れは一般に對する脅喝をも意味するのは勿論である。或る郡內に於ては面吏員が恐怖の餘り事務を執り得なかつた所もある。之れを第三期暗殺の時期とする。其次が第四期爆彈の時期に成つた處々に爆彈を投じたが人命の被害は無かつた。

上述の經過は丁度私共の豫想した通りの徑路を次から次へ辿つたものであります。然らば此間に於ける我警察機關は何ういふ有樣であつたかと申しますと齋藤總督は恰も騷擾勃發の甚だしき際に大命を奉じて赴任されたのでありますが、着任の日南大門驛頭に於て爆彈の洗禮を受けられた位だ。而して之れが朝鮮の警察機關の大改革の初頭に當るのである。憲兵警察制度から現在の普通警察制度に變更されたのであるが時恰も財界好況の絕頂であり物價暴騰の折柄であつたので一萬餘の警察官を揃へることは容易ならぬ困難を感じた。警察官の選任と給料の困難は一通りや二通りのものでは無い。其制服から制帽から何處で何うして調製すべきか目途がつかない。いはんやサーベルをやといふ狀態であつたけれども兎に角世間から種々の冷評を受けながらも萬難を排して改造に努力したのであつた斯くて漸進たる社會に對應した然るに前に述べた通りの經過で朝鮮の獨立は到底不可能であるといふことを覺り先覺者のみならず一般に覺つた其處で教育を興し產業を盛んならしむる等實力を養成しなければならぬと心づいた。それは總督の文化的施政の方針と一致するもので誠に結構であるが唯獨立を遂ふ所謂先覺者達の眞意は實力を養成して獨立を獲んと欲するのである。此見解は決して私の獨斷に出づるものではない。

我が東洋の禍根

臨軍某長官談

浙滬土匪事件に對する仕末は未だに決著を見ず問題の當初から受身であつた支那政府並に列國は討伐の不可能、逮捕外人の生命を危んで止むなく土匪の要求を入るべく努力中であるといふ。吾々は最初から支那從來の國情に鑑み所謂土匪の實狀より推し其討伐不可能を思つて居たが支那に暗き列國が此事件によつて遲蒔ながら支那の國狀につき覺る所があつた事は東洋日本の爲に喜ぶものである。而も匪賊の當初の所傳により米國新聞紙の二三は土匪の背後に日本ありと猜疑したものが今や漸く正論に返らんとするにその中の一紙を例として擧ぐれば

▲『山東の危』は日本軍の撤退に依つて增加す。土匪は日軍に威伏してゐたが其撤退は彼等の跋扈を許す。土匪討伐の如きは不可能にして不可。之を支那政府に强ゆるも何の効果なし。昔は支那は龍なりしならんも現在の支那は無定形黃色のクラゲの如し。かゝるクラゲを相手に理屈を言ふも益なしと說く。蓋し近來の卓論。固に支那の國民性を評し得て妙といふべきである。近時我國と露國の關係に就き世論紛々承認不承認の二派ありと云へ共大勢は信ずるに足らず。承認尚早論は赤露危險と言ふにあるのであるが、吾々は後藤子の提灯を持つ譯ではないが、當方に誠意を以てすれば露國の赤又恐るゝに足らずと信ずるものであるが、實に恐るべく憂ふべきは此支那の黃色なクラゲである。世界大戰の打擊を受けた白色人種は其白色人種の國際關係を容易に現はすべくもない。此の時に當り大戰の悲劇から西に東に黃色人種の國起論者たるものがあり黃色人種の爲めと目する日本に依賴するもの多き今日、人類の爲め時に又黃色人種の爲め特に氣炎を吐かんとする日本の前に、この無魂なる無定形なクラゲが手足まとゐに存在するは世界人類の爲め東亞の爲め永遠の恨事である。憂ふべきは黃クラゲ日本は此機を利用し世界に提議するに東洋會議を以てし列國と協調以て支那の處理を決し今に於いて此の禍根を斷つべきである。

種の話

◇今後の人間は再び風葬式を執るかも知れぬ

火、水、風、土は昔から人間の日常生活に密接の關係があつて、人間が生を此世に受くる瞬間より日々必ず火、水、風、土の恩惠に依り又人間の死ぬ時も葬式は火、水、風、土の內何れかに依り葬むるのである。即ち火葬、水葬、風葬、土葬此れである。然るに現時の文明國民は人間の死んだ際に火葬、水葬、土葬の內何れかに依し風葬は見る事が出來ないが、現時の文明國民の祖先は火葬、水葬、土葬の外風葬式にも依つて死人を葬つたものである。風葬式とは死人を風のある處即ち空中に葬る意味にして如何にして此れを行つたかといふに昔の人間が如何に腕ッ節の强い者でもあつたとは云へ死人を空中高くなげ上げる事は出來ないから死人を成る可く高き處に安置し大きな鳥の眼に止まる樣にし大鳥が之を發見し口に啣へたり兩足に摑んだりして空中に飛び上がり人間の見えぬ處に持ち行くといふ樣式であつて、此風葬はいつの間にか漸々減少し唯今では西藏の國などに殘つてゐるのみである。然し現時飛行機や飛行船が非常に進步し陸上の交通機關と同樣に安全になるのも近き將來に屬するので、斯く安全となつた際死人を葬るのに死體を飛行機に乘せ空中高く飛翔し隔めて遠距離の……一定の場所に持ち行き見えぬ處の……即ち死人愛惜者の眼を絕る時機が必ず來る。即ち風葬は再び現出すると英國の歷史家は云つてある。

金剛山紀遊

結城蓄堂

五月十四日元山より金剛山を看されば天下の奇勝を說くに足らずと。今也我將に洞天の祕を探り勝を鶴らんとす。夜來の風雨甚しかりしは或は山靈の祕を惜むを嫌ふにや。頗る關心に堪えざりしも晦起天霽れ雨晴る欣然として車上の人と爲る。昨夜山靈余が夢に入り曰く。希くは天祕を人間に洩す莫れ。只吾子の筆を待て以て人の未だ道破せざる所を寫せば足れりと。忽然と夢醒む。枕頭を僕つあるのみ。日本海の滄浪洶々として。

維石巖巖靈秀鍾。洞實潭落斷崖。夢魂忽擁大風去。飛度金剛第一峰。

近詠十句

四留留女

蝶々

町中やいと低く飛ぶもつれ蝶
蝶々の沈みしまゝや草の風
花の雨灯し頃を昏れにけり
消近き松の砂地や春日傘
なかなかに舟に波來る花曇
木に倚つて牧夫何謂む花曇
轉寢や媚藥かのごと[illegible]の香
櫻咲き散りぬとのみに籠り居り
なつかしき手紙とゞきぬ春の宵
毎日の柳見あかず立ちにけり

ポケット六月號 探偵戀愛喜譚

掏摸物語 刑事の名刺 廣川秋夫
捕物奇談 幽靈屋敷 馬場春守
武勇講談 塚原左門 寶井馬琴
痛快小說 馬賊襲來 住吉三蝶
捕物奇談 堀留小町 河野紫光
本號より連載 大探偵小說 稀代の頸飾 南黑鳥
◎第二名士綽名番附……◎滑稽つきもの番附……◎劇作家及批評家番附……◎（漫畫）新聞を讀む人……◎（漫畫）猫と猿とあうむ
大岡名裁判實錄長講 天下取の大陰謀 桃川如燕
紙幣を燒く 中西一夫
武勇講談 後藤と塚原 深川臥龍
犯罪奇談 老役 近藤悟作
丸い男・細い女 圭木山人
挿繪小說 化身の事件 速水徹
お高祖頭巾の女 前田曙山
◎紙上連續大活劇珍婿……◎ポケツト小話……◎懸賞俳句◎懸賞川柳……◎懸賞問題（狼と山羊と）……
定價參拾錢 送料貳錢 東京市本石町 博文館

參坪百羽 養鷄講義 中央家禽會

文藝倶樂部 六月號

天下無敵 大力角兵衛 四筑波郎
珍奇談 河童娘の戀 辨天吉二
江戶氣質 不動の源次 若木麗二
名工逸話 甚五郎の蝦 東篁醉
滑稽小說 髷の健二 大庭青楓
義俠奇話 地獄釜 菊井新樓
特選讀物 腕競五人男士
大延三山寨の主 淡路呼潮
怪勇鬼神丸 食物忍術 深川臥龍
粂の平內 男嫌の小雪 藤村福太郎
桶山丹下 横槍と横笛 中村兵衛
一塊尾猫丸 暴れ忍術 端山銀作
實驗講談 呪はれし兄妹 竹中秋香
寫實小說 返らぬ妻 綠長之助
人情落語 引窓 林家正藏
阿武隈川百物語 森下金鳥
權兵衛狸 入船亭扇橋
奴の長太 小金井蘆洲
鼠の魂 竹林舍斐山
大石淺婆訪問 近藤悟作
小藤新七 美卷
戀の劍術 森下雨作
寸珍傳說 經藏坊物語
小說 金色の輝き
漫畫 金の世の中 けん一
懸賞募集
六拾錢 送料二錢 東京市本石町 博文館

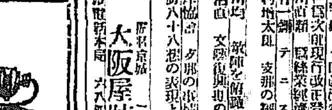
株式名義書換停止公告
大正十二年六月一日より定時株主總會終了の日迄株式名義書換を停止致候
大正十二年五月
大日本製糖株式會社

新刊書籍目錄 無代進呈 ハガキにて申込みあれ 大阪市東區博勞町四 文化堂

百州五版 貯め方くらべ 利殖あり
見たか？讀んだか？試したか？？？ 實利經濟書の大王（感謝狀續々來る）
四六判洋裝美本口繪十二頁紙數百四十六頁
官吏、軍人、教職員は勿論貧者も富者も必ず讀め、理想の利殖方法を容易に會得し、生存競爭場裡の優勝者たらん。

眞劍に忠實に刷實費の半額にて頒布す。五枚封入申込めスグ送る 希望者は貳錢切手貯金
一新匿名組合出版部

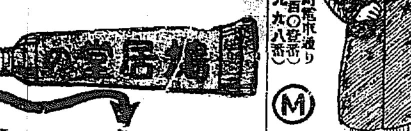
改訂增補 國民經濟講話
法學博士 福田德三著
◇短期特賣◇ 申込五月廿五日〆切
世界經濟學界の鴻儒福田博士畢世の大業百餘の社會事象を經濟學的に觀察し、高遠の學理を說くに平明流麗の口語文を以てし、豐富なる引例、興味ある說材を配せる天下無比の名著、經濟學のバイブルは驀刷又重刷の好評裡にあり。今日の好機！明日と言はず今日直ちに！
〆切迫る！ 即座に 特價申込金 二圓を拂込まれよ
この申込金を〆切日迄にお拂込になつて置けば御便宜の折代金を支拂つて特價にて購求出來ます
國民經濟講話 特價九圓八十錢（定價十二圓）
國民經濟講話 人名件名 索引 特價七十錢（定價九十錢）
定價より二圓四十錢の利益 好機を逸する勿れ
東京神田今川小路・振替東京二三六一八 大阪市東區備後町 大鐙閣發行

酸素療器 特約店

邦文第十九號 英文最近 實驗例贈呈
オキシヘーラー
特色 ◇正價金參拾五圓
東京牛込區神樂町一丁目一番地 オキシヘーラー獎勵會
京城府觀水洞一四七番地 白石元喜

最新刊
大阪屋號書店

現代紳士之必要具

レインコート
特等 金貳拾五圓內外
上等 金拾五圓內外
東京市神田區 米山萬次郎商店


最上エノグ
水彩用 十二色 七十錢
小學校用 十色 廿五錢
小學校用 六色 十五錢
書家用繪具各色
京都寺町 熊谷鳩居堂
代理店 河野本店

我政府對獨賠償覺書

外務省發表＝十五日獨逸に交附

【東京電報】外務省公表＝賠償問題に關し獨逸の公文に對する帝國政府の覺書左の如し

帝國政府は獨逸政府が五月二日附覺書を以て亞米利加、英吉利、伊太利、白耳義に對し賠償支拂の爲め回付したる新提案に付き最も愼重の考査を與へたり該提案の骨子たる賠償支拂計畫は其の總額に付ても其の支拂及び賠償の方法に付ても共に帝國政府の贊同を表する能はざる所なり帝國政府は本件に關する實際上の利害が他の聯合國の如く緊切著大ならざるに顧み此の際該提案の內容に亘り意見を表明するを避けんとす唯獨逸政府が公正の處置により更に適當の方法を講じ以て賠償問題の迅速圓滿なる解決に資するの端緒を開かれん事を望んで已まざるものなり右は十五日獨逸側に交附したるものである

盛京時報發賣禁止問題解決

【奉天電報】邦人發行の漢字新聞盛京時報は張作霖氏の忌諱に觸れ支那側に於ける發賣を禁止され將に日支間の問題とならんとせし所十五日上り右禁令を解き無事解決した

樞密院會議

【東京電報】樞密院にては十六日午前十時三十分本會議を開き濟南鐵道[illegible]

交渉決裂を望む

英保守黨＝露の回答には不滿足

【倫敦十五日發電】英國の最後通牒に對し露國の回答不滿足なる爲め英國保守黨は露國との交渉決裂を希望してゐる

ウーヴル紙の論斷

ク氏に對する判決は不法

【倫敦十五日發電】佛國軍法會議のクルップ工場社長其他に對する判決に就て巴里のウーヴル紙は右クルップ重役に對する判決は不法であることを論斷したが獨逸の國有財産を押收したのは獨逸が勝手に其賠償金支拂を停止したからで獨逸人民の壓迫を目的とするものではないと云つてゐる

米墨會議圓滿に進む

【墨西哥十五日發電】墨西哥現政府承認に關する米墨兩國の會議は協同的の精神に滿ち米國委員は其の會目的を曝け出し墨西哥側の率直ならんことを求めた而して會議は公開ではないが其經過は時々新聞紙に依て發表される筈である

米公使の對支要求

【華盛頓十五日發電】駐支米國公使シュルマン博士は國務省に對し土匪の襲撃に備ふる爲め各鐵道を保護する手段を北京政府に要求する公文を交付した旨報告した

土匪對官憲の會議

土匪の要求を悉く承諾

【北京十五日發電】土匪は四人の代表を遣り臨城で支那官憲と會議を開いた其結果土匪側の要求通り官兵を三十支里以外に撤退せしむる事を承諾したと傳へらる

津浦線保護を英米に

委任すべしと葡萄公使の申出

【北京電報】在北京公使團首席公使ポルトガル公使は口頭を以て外交部に對し津浦線の保護を英米に委任すべしと申出た

米對日誤解說無根

排日派新聞の宣傳に過ぎぬ

【東京電報】支那の土匪事件に關し日本は被害者なき爲め日本の態度が冷淡なりとて米國辺りから誤解を受けて居る樣に傳へられて居るが之は排日派新聞の宣傳で日本は事件の當初から吉田代理公使が外交團會議に列席して被害國同樣善後策を商議してゐるから左ることは絕對にないとの事である

土匪事件聯合視察團組織

【北京十五日發電】公使團會議の決議で土匪事件に關し聯合視察委員團を組織し派遣することになつたので日本から將校一名參加することになつた

土匪又復暴行

今度は官兵を騙し討ちにす

【臨城電報】官兵は土匪側が事件を容れて退却を行つた處不信極まる土匪は此機に乘じて猛然追擊し來り官兵は不意を討たれ戰死一、重傷二名を出した

日本陸戰隊と排日團との衝突

原因は日貨積載の調査より

【上海電報】砂市來電に依れば十四日同地にて日本軍艦陸戰隊と排日團との間に衝突起り多數の支那人負傷し中には數名の學生あり事の起りは日淸汽船の大元丸が砂市の船渠に入るや多數の排日團押し寄せ來り日貨積載の有無を調べんとするより陸戰隊は陸戰隊をして之を追拂はしめんとせしに彼等は抵抗したる爲め止むなく發砲したるものである

奉直和議形勢良好

【奉天特電】奉直和議の形勢は頗る良好となり直隷派代表王承斌氏は山海關にて奉天側代表孫烈臣氏の來著を待つ旨の電報を寄せ來りたるを以て孫氏は去る十三日一度歸奉したるが更に引返し十六日或は十七日山海關に於て會見會商すべしと

孫氏代表來奉と一般の注目

【奉天特電】孫文氏の代表としてシャンハイに駐在しつゝある張繼氏、王朝銘の兩氏は十四日朝來奉直に城內に入れるが目下奉直の和議進行中なるを以て張氏と會見の際は何れ該問題に觸るゝは疑ふの餘地無く其會見の結果は該和議問題に關からず恐らく張、孫、段の三角同盟問題も此際更に若干の進展をみるに至るべく更に西支那今後の政局に多大の關係を持つものとして一般より注目されつゝあり右一行は約一週間滯在する豫定なりと

日本領事は駐在せん

英米領事十五日限り引揚げ

【東京電報】在浦鹽の英米兩國領事は十五日限り領事館を閉鎖して歸國と共に一先づ日本へ引揚ぐる事となつたが日本渡邊領事は駐在して浦鹽問題等に貿易事務官の交換問題等に關する露案の交渉に當る筈である

渡邊領事露國查證官に對し旅券查證を與へず

ヨ氏後藤子協議中

【東京電報】十六日浦鹽より旅券查證官七名渡日する事になつてゐたが浦鹽渡邊領事は本國より訓令なしとの理由を以て右七名に旅券の查證を與へず爲めに渡日する事出來ず依つてヨッフェ氏は後藤子と會見し之れに付協議中であると

查證拒絕に就て

官 ―外務當局の談―

【東京電報】旅券查證官の查證拒絕に關し外務當局は曰く十三日浦鹽渡邊領事より査證の件につき照會あり依つて赤化宣傳等の虞なき人物ならば査證して差支なしと訓電を發して置いた其後同領事より何等電報がない

ヨ氏痛く憤慨す

本國よりの電報は飜譯の要なしと秘書官に命ず

【東京電報】露國旅券査證官の日本渡航に就する入國査證の件に就しヨッフェ氏は日本官憲の命令の不徹底不統一なるに痛く憤慨し最早莫斯科からの漁業に關する電報は飜譯の要なしとして秘書官にその飜譯方を差止たと

日露交渉洵に困難

後藤子或は手を引かんか

【東京電報】後藤子は加藤首相と會見するだらうとの說あるが元々直接談判なき內田外相と會見する筈なく尙ほヨッフェ氏は漁業問題を後にしてサガレン問題を先にする事につき諒解し居れるも尼港事件の解決につき兩者の間に懸隔あり俄に交渉を開くに至るも解決困難なるべくされば後藤子も漁業問題の解決を一段落として手を引くに至らざるかと觀測する向あり

日銀職員異動

【東京電報】日本銀行職員異動左の如く發表あり

依願免職 文書局勤務調査役 松江支店長 岡部潛
同 松江支店長 文書局勤務調査役 井出勝
命文書局勤務調査役 檢査役 佐々木五郎

河合大電專務

【大阪電報】大阪電燈株式會社取締役河合銳氏は十五日上京中銀座澤文旅館にて腦溢血症再發の爲め十六日朝逝去した

赤十字社朝鮮本部擴張

近く規則改正

日本赤十字社朝鮮本部の現行規則は大正四年七月一部の改正を行つたが爾來社旨の普及に伴ひ社員の激增しつゝあるにつき朝鮮の近狀に鑑み赤十字事業を擴張すると共に一般赤十字社事業の施設を圖り民衆の福祉を增進することが極めて必要なる氣運に向ひつゝあるので今回現行規則を改正し向後適切有效なる事業に努めることゝなつたが其要點を列擧すると從來道廳所在地に支部を、府、郡、島廳所在地に委員部を設置したるを擴張し地方の情況に依り郡支部を設け又本部及各支部長は總裁之を任命することとなり以て其の管掌事項としては救護員、救護材料の準備、戰時救護、結核豫防撲滅、救療、兒童及姙產婦保護、少年赤十字の各項を追加擴張することゝなつた

全鮮商議大會

各地提案の討議に入る

……第一日（夕刊より續く）午後……

第六回全鮮商業會議所聯合會第一日は引續き午後一時三十分より開會し先づ平壤の福島莊平氏立ちて

▲第一議案 簡易生命保險法を朝鮮に實施するの件（平壤提出）に就き提案趣旨を說明し同時に從來の貿易保險の現狀につき詳細なる數字をあげ福島氏の說明を補足し本議案の承認を求め平壤としては資金流出防止の一助ともならんと結論するや

▲石原源三郎氏（釜山）本問題は趣旨甚だ結構であるが遞信當局の云ふ所では朝鮮では民籍法の不備により死亡率の統計を得がたく從つて實施は困難であるとの事だが提案者に於て現況の調査が出來て居るか伺ひ度い

と述べ同仕記長花輪氏『問題の趣旨は元より贊成なるが實施困難ならんと石原氏と同樣の事を述べ釜山の遞信局事務官小島氏の說明を求むるや氏は內地に於ける簡易保險の騰貴であると陳べ

▲志崎信太郎氏 本問案は要するに趣旨に於ては何等不可と認むべきものなし實行は後に協議するとして先づ原案に贊成す

と述べ同異議なく承認

▲第二議案 船舶法を內鮮共通に致す事（元山提出）に移り元山君郡男百造氏之が提案理由を說明し內鮮船舶を共通にするは半島の發展上一日も忽せに致す事を得ず一同の贊成を求むと述べ

▲花輪釜山副記長 現在では朝鮮船舶は內地不開港地に入る事も又內地船は朝鮮の不開港地に入る事も出來ぬ、之れは甚だ朝鮮側の運送に不便である、然し自分は之ればかりでなく內鮮海員の資格も同一にして貰ひ度い何く處で朝鮮で海員資格を得ても內地に於ては只だ單なる資格を得たに過ぎないから內地の方についても要望したらば如何

▲志村信太郎氏 『餘りに調査が足りないのか...』

▲大村京城副記長 朝鮮の方面では夫々調査が進めらるゝ以上...

所でよいと思はれる』と述べ

▲花輪釜山副記長 『朝鮮に內地の如く...』

とと述べ結局承認

第三議案 朝鮮產業開發に關し研究機關を設置の件（仁川提出）に移り

▲飯塚氏（仁川）朝鮮に於ける事業發達が遲々たるは有力なる調査機關を缺くに因る故に總督府をして速かに斯る機關を設置するよう要求したし

と述べ福島莊平氏元山郡男百造氏等も調査機關の組織目的について其意見を述べ

▲岡本仁川副記長『現在總督府の有する試驗所等は小規模且つ學究的のものに有らず一層實際的の工業研究所を設置したいのである』

▲大村友之亟氏『提案の趣旨は何の事業が朝鮮で採算出來るかと云ふ事を調查するものらしいが之は政府にやらせるものではないと思ふが如何』

▲花輪釜山副記長『朝鮮に內地の...

▲深水事務官 中央試驗所は唯學術的研究ではなく經濟的實際的方面も決して閑却はせぬ、試驗所の活動が鈍くとも經費の不足によるのである、故に之を充實させるのは贊成であるが同樣の機關の新設には贊成出來ぬと述べ結局提案者より

▲第四議案 內地輸入....

查證授與回訓

外務省より渡邊領事へ露國查證官に對する

【東京電報】在浦鹽渡邊領事より露國旅券査證官七名に對する査證授與の件に關し請訓して來たので日本政府は十五日査證を與へて差閊へなき旨回訓したと外務當局は語つた

▲岡本保誠氏『探算的方面と云ふのは只事業經營の參考にするので無論官廳に責任を負はせる意味ではない』

撫順視察

【撫順特電】全國新聞記者大會出席の一行十六日午前十時四十分撫順到着直ちに撫順記者團より一行を案內し撫順驛にて民有志多數の出迎へを受け直ちに露天掘を視察し尙中央試驗所及大山炭坑等を巡覽し午後三時發奉天に向ふべし

對露取引支障

近來ソヴエート政府の布告に依ると同地に於ける露國からの報酬に依ると同地に輸入する一切の紙入金は從來日本紙幣を使用して居たが本月八日以降突然これを禁じ專ら露國の通貨を使用することゝなり爲替補入其の他日本との取引上撫からず支障を來して居ると

東拓鮮內貸付

東拓四月末日現在鮮內貸付高は四千三十四萬六千三百四十圓にして前月に比し約一萬圓の增加を來したりと

滿洲新銀行頭取不日決定

【東京電報】先般合同の滿洲銀行の頭取に付ては其人選を鮮銀美濃部總裁及關東廳長官に一任したるを以て美濃部氏は直に候補者を選定し之を關東長官に提出し日下長官の手許に於て種々考慮され居るにて近く其決定を見るであらうと

大連敎銀頭取

片山氏へ交渉か

【東京電報】大連敎育銀行が大藏省及び鮮銀より低利資金の融通を受けて去る三月より開店せるは既報の如くなるが今回預金者の希望もあり勞々同店を機として頭取の更迭を必要とし片山鮮銀理事就任の上其交渉を開始すべしと

東拓新理事配置

【東京支局特電】東拓新理事の配置は未だ確定するには至らないが尾崎敬義氏を滿洲に派遣し一氏を京城に入置き二郎氏を本店勤務及人事に川上常郎氏を金融及金融に配するだらうとの觀測有力であるが一方事務刷新の意味にて尾崎氏を東京に池邊氏を京城に駐在せしめるに至るかも知れぬと尚尾崎氏に對する關西側大株主の反對は入見理事總裁の下に諒解を得た模樣である

朝鮮鑛業會總會

朝鮮鑛業會にては來る二十七日午後三時より南大門通事務所に於て定時總會を開き大正十二年度の豫算及十一年度の決算を附議し次いで鑛業振興策に就き會員各自の意見交換を行ふ筈

記者協會幹事會

朝鮮記者協會にては十六日午後三時より明治町二丁目福田屋に於て幹事會を開き重要事項に就き協議する處があつた

副島伯の視察

目下入城中の副島伯爵は佐々木總督府事務官の案內で十五日愛國婦人會京城幼稚園を參觀內鮮兒童保育狀況視察をした

人事消息

▲早川與氏（龍山陸軍倉庫長）十五日夜龍山發陸軍經理事務視察の爲め平壤及江界地方出發

▲河內貞藏氏（關東軍法務部長）十五日夕退城

▲渡邊錫太郎氏（軍馬補充部本部長）入城中の所十六日朝退城

▲山口卓藏氏（軍醫部長）軍馬狀態視察の爲め十五日北鮮地方に出發

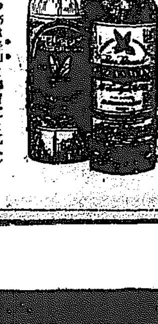
主力艦の改裝（下）

水線下の防禦バルヂ裝著

海軍大佐 吉井達

在來戰艦の水線下は如何に防禦されあるかと云ふに總て石炭庫より成る部と砲火藥庫に至る間の舷側に沿ひ縱壁を設け舷側を約一呎位の甲鈑を以て防禦したものにて艦底に至りては水雷防禦上殆ど顧慮を要せず艦底に對してのみ防禦を要する目的にて舷側の二重底を設けたるに過ぎないものであるが之れにては誠に不完全であるので歐洲大戰の經驗の後に列國海軍は各種の防禦を考案し新式の戰艦にはバルヂを比較的廣く應用する所あるものとして英國に最新式の超弩級戰艦フード（四萬二千頓排水量）に水線下防禦として一層十五吋砲八門を装備する事となつた此の防禦は獨逸の弩級艦なる改裝を攻擊する爲め小型戰艦に十二吋の如き巨門砲を一艦たる浮力水の艦隊は可なり苦くからあるものなりが

艦を被遇して使用したモニトールの艦が獨逸の潜水艇に撃沈されても沈没の危を免れた一例なるより更にモニトールはバルヂ裝著せられありしが為め沈没の危を免れたものにして右は此際新たに造らるゝ艦にても保用さるゝ事となつた其構造の如きは艦齡十數年を經たる艦には水線下に於て舷を甲鈑で被覆し之を第一の艦隊艦に取入れ之を爲すものであるも艦の動揺...



文化的新製成れる

蜂印香竄葡萄酒

飲むだけ血となり肉となる

品質本位 美味滋養

發賣元 近藤利兵衛商店

法人登記公告

京城地方法院 [illegible]

法人登記公告

全州地方法院群山支廳 [illegible]

法人登記公告

全州地方法院任實出張所 [illegible]

商業登記公告

平壤地方法院 [illegible]

京城地方法院 [illegible]出張所 [illegible]

鮮人相愛會

目的なく上阪した鮮人の相談に乘る

[illegible]

東京相撲

十五日午後二時より土佐堀實業會館にて[illegible]

七日目取組

[illegible]

京城券番祝賀會

京城券番では今回[illegible]

稻荷大祭

[illegible]

新町へ泥棒

[illegible]

鮮銀兌換劵僞造事件で

廣島縣選出 桑原前代議士召喚さる

昨年十一月鮮銀より大金を詐取す　背後には政黨の幹部

鮮銀詐取事件に就き警視廳では十五日夜深更まで有松警部[illegible]櫻井警部等の手に依りて關係者の取調べを續けた結果漸く事件の內容明瞭になつたらしく廣島縣選出前代議士桑原某及東京市芝高輪土地會社重役[illegible]一郞（[illegible]）の兩名留置せられ松下[illegible]の兩名は引續き十六日朝召喚取調べを受ける筈である、事件の眞相は前記の連中が昨年十一月市內某所の待合に會合相談の末鮮銀より或る手段を以て大金を詐取したるものにて其の背後には或政黨の幹部が關係し居るもの丶如しと（東京電報）

時局に名を藉る 拳銃強盜捕はる

帆船に乘つて仁川近海を荒す　仁川署の活動で苦もなく

本年一月頃から仁川警察署では俄に色めき立ち刑事が八方に飛んで大活動を開始し[illegible]更に[illegible]よりも刑事數名が來仁し[illegible]數名の嫌疑者を逮捕し[illegible]十四日迄に一名の鮮人を檢擧した[illegible]事件の內容は極秘に附せられて來たが[illegible]されてゐないが本社の探聞する所によれば右は第二の金相玉を以て自ら任じてゐる陰謀鮮人の團體で三日仁川に侵入した時の如きもピストルを以て抵抗したが苦もなく逮捕さるるに至つた者である、首魁は黃海道[illegible]生れで當時仁川府居住[illegible]で大正八年の騷擾事件以來の[illegible]系でシヤンハイ假政府より鮮內に[illegible]られたものである

[illegible]部長と云ふ有名無實の肩書を貰つて歸鮮し、表面は正直さうに船乘業をして暗に同志三四人と共に必要の準備[illegible]より仁川に入港する支那船を利用して當局に不穩文書を取次してゐたが支那船では連絡上意の如くならぬので帆船一艘を購入し直接シヤンハイ方面と連絡をとつて大活動せん[illegible]同志を糾合し一團八名を以て資金を[illegible]調達せんと四月末小船を使用して仁川、江華、素沙を股にかけて兇器を持つて五六ケ所に押入り强盜を働いてゐたのが發覺し仁川署の手に捕へられたものである

漁場警備の驅逐艦

火を發し死傷者を出す

カムサツカ漁場警備の爲め靑森縣大湊を發した驅逐艦樅は津輕海峽で揮發油倉庫から發火し死者一名負傷二名を出し直ちに引返して修理中である（東京電報）

亡父の一周年に

追善の意味で書いた

第三部（書）で三等入賞した 『[illegible]』の筆者後藤要さん

鮮展第三部（書）の三等に入賞した後[illegible]六日李王家御買上の榮を擔つた『[illegible]』は十[illegible]（[illegible]）氏の『[illegible]』は十[illegible]に勤めて居る後藤氏は語る

藤の花

私の書が入賞したのみか李王家の御買上げに預つたなどは全く意外です實は他の方々と異つて外は役所に[illegible]（[illegible]）のほか學校、郵便局と終日、鉛筆の外は家で日曜日は役所の夜も人が見えるので殆ど暇がありませんので到底お目にかけるやうな作品など出來ないのですが元來亡父が非常に書を好み生前にはよく私の手を引くのを傍で見て居りましたから先日一週忌の佛事を營んだ[illegible]追善の意味で書いたのが今度入選したアノ書なんです、併て書いては見たもの丶旨く行かずモウ一行と云ふ所へアノ書を表裝した加藤君が來て出品を奬めたのです、多く速成でお褒めに預るなど丶は思はなかつたのでした、云々

[illegible]同氏は山形縣酒田町の人、明治三十九年から東京に出て[illegible]に就いて學び四十五年渡鮮以來遞信局に奉職し爾來十[illegible]の[illegible]分[illegible]山の人を指導して居るの[illegible]四等に入賞した石田[illegible]氏なども氏の門人で僅一年ばかりの間にアレ程の能書家になつたのであると

後家を欺き 嫁入させて

報酬金を山分け

京城上道面[illegible]里二七一[illegible]（[illegible]）京城黃金町二ノ八二[illegible]は長湍郡內面[illegible]里[illegible]女（[illegible]）を誘拐して仙へ嫁入させて金儲けせんと企てたので京城地方法院三矢檢事長、（[illegible]）係で二十四日公判が開かれる、[illegible]は大正九年二月十二日同人方に赴き[illegible]同女に向つて、只今寡女

十九日=午後正四時開場 二十日=午後正一時開場

喜多流宗家 大演能會

會場　長谷川町公會堂●會費一人に付金七圓

主催　喜多會支部

後援　京城日報社

文盲の女を欺いて

貯金通帳を胡魔化す

仁川栗木里二九[illegible]方には[illegible]に在る[illegible]（[illegible]）及[illegible]（[illegible]）の兩名が同居して居た女主人である李[illegible]は最近自己の所有家屋を賣つて現金一百圓を前記同居者[illegible]に託して郵便貯金をさせたのであるが此の事を聞いた[illegible]は相手が小供であるのに附込み[illegible]が預けてやるからと受取りて去る四月廿三日仁川內里郵便所に到り金一圓を貯金して九十九圓を[illegible]貯金通帳の一圓を巧みに[illegible]改竄して之を一百圓の如くに見せかけて[illegible]に渡し[illegible]から[illegible]通帳を交附した[illegible]なきもので[illegible]通帳記載の金額を見る[illegible]が出來ず[illegible]に百圓

鮮展の書と彫刻（五）

東洋畵個人評　多田毅三

私は前文を結んで、自然を見るに正直に高潔にと書いた。正直にとは己の感ずる儘にと云ふ意味であるが、私の云ふ高潔と云ふのは嚴に上品と云ふ意味の言葉とは異ふのである。藝術上の高潔、それは社會で物の考へ方が正しくてやましい氣が無く、尊く世の中の現象を理解する事が出來て自分はそれを超越すると云ふ態度を持してゐる人がある。その態度を藝術上の作の上の態度に用ひたので情緖に優れた考察と感覺とに富んだ人にのみ望まれる事でもらうと私は信じそれを具備するが故に私は社會の人々と共に藝術家を尊敬する爲に

なるのである。◇

此の意味の表現に到達して始めて藝術品としての價値を持つ樣になると思ふ。鮮展の多くの作品は全くこれに缺けてゐるが特に女流の作品にはそれが甚だしい。秋山たけの作の『[illegible]』の[illegible]『夕すゞみ』西村薰子作の『[illegible]』などは皆に物足りない物である。同じ女流の物でも足立秀子作の『遣り火を焚く兒』には形式に於ては[illegible]な[illegible]があつて[illegible]傾向を示してゐる。合原[illegible]作の『[illegible]』は[illegible]が出て居るが[illegible]ぺラぺラした[illegible]りなさがある。加藤[illegible]の作品は三等入

賞の作品でもあり作者の意志が强さも伺はれ技巧も相當にこなされてゐるし丘上といふ感じも出て居るが人物部の[illegible]物の線は大變不快な感を與へる。柴田紫門作『[illegible]』の途り[illegible]では[illegible]の枝が今少し省かれて[illegible]ある所を强めるが作者に適合するのではなからうか。又[illegible]の絵の右に多く出た牛と人は此の絵の作意を最も[illegible]してゐるものであると[illegible]する。又その大きい人物の表情は非常な下劣さで近づいて來るので[illegible]あると云ふ事などで感じるのと別な者が前に入つて來る。鈴木[illegible]作[illegible]紅に小鳥』は[illegible]が浮け込んだ[illegible]な[illegible]が[illegible]に[illegible]を作つて居る。又、吉澤直[illegible]作の『[illegible]』では[illegible]試みられて居るが效果の無い小細工が眼に障く。

◇高野南陵作『寒い國の魚』三等入賞は自分でないとか有るとか[illegible]家[illegible]聞で大分問題になつて居るが此の魚は五月[illegible]の鯉が風に吹き靡くれてある[illegible]で魚の[illegible]が出て居なければ寒い國の魚と[illegible]の入つた題名をつける樣な何の感じも有りはせん。

◇私は是で日本畵部の評を終るが、私が作者の總具だと用ひられた紙だとかそんなものに一論[illegible]も書き[illegible]る[illegible]が無く選[illegible]たし[illegible]作者に無同情の樣にとれるかも知れないが私は[illegible]家は其表現に最も適した材料を選むべきものであると[illegible]するが故に[illegible]せんとする者は先づ第一に[illegible]の持つ表現に眼を止めるが當然であるといふ信念に依つて此の事に筆を略したのである

浦鹽から來た 朝鮮丸調らる

元山水上署で

[illegible]浦鹽から[illegible]せた[illegible]元山へ入港と同時に元山水上[illegible]派出所に赴き[illegible]船長田中[illegible]文郞は上陸[illegible]にて氏名不詳の內地人から船員一[illegible]に頼みを[illegible]と稱し『[illegible]政府の[illegible]』二百通を受け取つた事を[illegible]（大阪電報）

學生水平社 員と衝突す

負傷者廿名

十三日山口高商の[illegible]で野球試合に觀戰の[illegible]が[illegible]中から[illegible]者が[illegible]を[illegible]したとて水平社員と[illegible]衝突し二十餘名の負傷者を出し十四日夜水平社は[illegible]品し示威運動を[illegible]（門司電報）

奇特な兵士

俸給を悉く貯蓄して 在郷軍人會へ寄附

京城旭町一丁目[illegible]方[illegible]子[illegible]多[illegible]三郞氏は一昨年步兵第七十

電話開通

本局三・七一三番

京城日報、每日申報販賣部長 自宅　南山町一丁目 大島勝太郞

墳墓の發掘を妨害す

[illegible]驛前[illegible]氏（[illegible]）の兩名は十六日午後六時頃[illegible]の[illegible]に從事中なる[illegible]五十[illegible]に[illegible]の三番地[illegible]に[illegible]等[illegible]一名に對して無法にも作[illegible]の中止を迫り之に應ぜなかつたとて[illegible]を西[illegible]に引ずり出し[illegible]四十餘人の人夫を[illegible]して[illegible]他の一人にも暴行を加へた[illegible]を聞いて[illegible]けつけた警官の爲め[illegible]本町署に引致された

若い妻家出す

[illegible]南山[illegible]五八五番地[illegible]（[illegible]）は妻の[illegible]（[illegible]）と數日前より府內仁寺洞[illegible]〇番地[illegible]に滯在中であつたが十三日夕方突然家出し心當りを探したが皆目行方が判らないので十六日夜[illegible]に搜査方を願出た

高商庭球部大捷

十一日[illegible]高商の庭球選手は[illegible]コートに於て[illegible]高商の庭球戰が行はれた、[illegible]の主將古賀有[illegible]山[illegible]、[illegible]の平山、[illegible]田中[illegible]の上田等各校の主將を初め仁商の能[illegible]其他牟田[illegible]下田の猛者を迎へて意氣頗る[illegible]朝鮮庭球界の[illegible]は共に[illegible]

運動屋を歡迎

府廳の職員には　運動する者は頭腦明快で決斷力に富む—と長尾理事官に大持て

最近組織した京城府廳の運動部はタイガー倶樂部と名付けて居るが如何にも猛烈相な名前で氣の弱い相手などは名前を聞いた丈けでも縮み上つて仕舞ひさうだ、野球庭球、相撲なんでも來いと言ふ荒い鼻息、去る十二日の午後四時半からタイガーの野球チームは遞信局のチームと對戰し五回で三十四對二の破天荒なスコアーで大勝し十五日は殖銀のチームと試合して十對六で又々快捷した其勢ひの猛烈さ流石にタイガーの名に恥ないものがある、庭球と相撲は[illegible]して判[illegible]勢ひだが夫れは當分お預かりだ

が運動部組織に就て長尾課長は語る『[illegible]府廳の[illegible]な職務と設備とから鑑みて運動部を組織するの必要に迫られて居たのである一般に運動する者は頭腦が明快で決斷力に富み不[illegible]を行ふ[illegible]を作らぬから品行も方正である、運動もせぬ樣な者は優柔不斷で[illegible]勝で品行も怪しい者がある、運動も餘り熱心でも困るが正に角運動する者は[illegible]に健康を增進すると云ふばかりでなく能率も向上する[illegible]は確實である今後は職員採用上にも此の[illegible]件を參酌する積りである』

出來心から 煙草を窃む

府內黃金町七の一番地[illegible]（[illegible]）は十六日午後六時半頃[illegible]局[illegible]の自宅前を通行する[illegible]心を起し

撞球競技會

斯界の二明星出場

[illegible]府部內の有志は撞球術研究の爲め斯界の名手河村[illegible]太郞、[illegible]太郞の兩氏を招聘し十九日[illegible]倶樂部で競技會を開催する事になつた、右兩氏は鈴木、友石、山田、森の四名手と並稱せられて居る我國[illegible]の明星で河村氏は千五百點、森崎氏は曲球に特殊の技能を持つて居る[illegible]日は河村氏の講話に次いで森崎氏が得意の曲球を見せ終つて兩氏の手合がある筈

[illegible]の父[illegible]昌[illegible]が病氣に罹り危篤である[illegible]迎ひに來たと欺いて翌日同女を連れて同家を立出で途中で『お前の父が病氣だと云ふのは嘘である實はお前にとつて良緣があるので嫁入させる爲に連れ出したのである、此縁談はお前の兩親も承諾であるからと[illegible]約束して置いた黃海道延白郡[illegible]面松[illegible]里[illegible]文初方に連れ行き同人に嫁せしめ其報酬として文初から九十圓をセシめたものである

[illegible]の貯金をして居るもの丶考へて居たが越えて五月二日[illegible]必要が生じた爲め郵便所へ拂渡しの請求をすべく通帳を差出した處其記載金額改竄しあるのみならず事實一圓の貯金に過ぎない事が發見せられ直に內里派出所に屆出でた然るに[illegible]は[illegible]の親族先なる李[illegible]方に居るのを逮捕して取調べた處[illegible]記の如く判明して[illegible]世永は不在で[illegible]が京城の親族先に詐取された事が判明した目下世永は行衞不明で極力搜査中である（仁川）

帝國飛行協會の 第四回懸賞飛行

朝鮮の後藤勇吉氏出場せん

帝國飛行協會では來る六月一日より三日迄不[illegible]搶四ヶ所に於て第四回懸賞飛行を擧行することになり二等飛行士は距離飛行三等飛行士は速度競技をなす事になつて居る賞金は一等二千五百圓二等二千圓三等一千四百圓四等七百圓であるが之れには目下朝鮮に居る後藤勇吉氏も參加する事になつて居る今回は大分競爭があるが人氣を呼ぶであらう【東京電】

自動車の 運轉手盟休

三百餘名結束

東京々橋數寄屋橋のタクシー自動車運轉手三百八十餘名は十五日ストライキを起したが十六日朝に至り漸く一部だけは働いてゐる（東京電報）

早大紛擾で 新人を檢擧

過般の早稻田紛擾につき警視廳特別高等課では紛擾の結果、當時紛擾に加はつた帝大新人會早稻田文化同盟新人會軍[illegible]研究會等の中から主なる者を檢擧することになり[illegible]は益々擴大する模樣である（東京電報）

雨傘持逃げ

府內西大門町一の五上村方居住宇高[illegible]花は十六日午後二時頃雨傘修繕の一鮮人に修理を頼んだ處其鮮人に其儘持逃げされて所轄警察署に屆出た

現金十圓遺失

府內中林洞五六番地大田代[illegible]郞は十四日午後六時頃竹添町から明治町迄の電車の中で現金十圓と萬年筆其他在中のシ[illegible]の紙入を本町署へ

大阪市教育會で教科書の 『一太郞やーい』の主公顯奬

大阪市教育會主催で香川縣三豐郡比地村『一太郞やーい』の主人公岡田[illegible]太郞の[illegible]式を十七日大阪中之島中央公會堂に擧行につき[illegible]太郞親子は十七日[illegible]した（高松電報）

七聯隊に編入後直に戰地行に[illegible]つたが在營中の[illegible]給は必要以外に[illegible]を貯蓄した金額六十一圓十五錢に達したのを今回[illegible]在郷軍人會京城分會へ全部寄贈した

醉漢玉座を汚す

當局恐懼す

十六日日比谷公園に於ける赤十字社總會に行啓あらせられた皇后陛下に[illegible]

赤十字總會に 皇后陛下行啓

十六日午前十一時より日比谷公園に於いて赤十字社總會を開いたこの日[illegible]く今にも降り出さん[illegible]で愛會者は空を眺めては天候を氣遣つてゐた[illegible]皇后陛下の行啓あつて會旨を賜ひ總會裡に[illegible]定の[illegible]く會の[illegible]を閉じた（東京電報）

[illegible]たる泥醉せる[illegible]は突如玉座に飛上り狂態を演ずる始末に[illegible]警戒中の刑事は[illegible]して直に取押へ[illegible]へ[illegible]致せしが右は政治[illegible]誌五大洲社長東[illegible]次郞（[illegible]）と稱し同人は[illegible]人數萬を附すなど泥醉者とは言へ不敬なりとて赤十字當局者は恐懼して居る（東京電報）

高知商銀支店

家宅搜索　新事實發覺

石井定七の爲め銀行を倒滅に瀕せしめた元高知商業銀行取締役中村長次吉村[illegible]男、佐藤[illegible]の[illegible]は[illegible]大阪地方裁判所で[illegible]中であるが昨今に至り更に新事實が發覺したもの[illegible]加藤[illegible]吉記の一行は東京神田[illegible]町の同行支店に到り嚴重な家宅搜索を行ひ多數の帳簿類を押收して引揚げた（大阪電報）

支那選手大阪に入る

四十餘名グレー博士に引率され 女子選手もある

極東オリンピック大會に出場するトラツクフヰルドの選手四十名は[illegible]

鳥瞰錄

從來[illegible]婦[illegible]耕作を業として居た[illegible]山麓の一部落民は昨冬來流行の燒畑[illegible]に入つて總督府を困らせる[illegible]で[illegible]草の非作同盟をなした[illegible]では燒畑耕作の他の作物より利益の多いことを說いて諭したが頑として肯じない、で[illegible]なく他の[illegible]落の[illegible]耕者に其耕作を許可した、[illegible]他の作物を作つて見ると成績[illegible]がズット[illegible]いので、サア大變と[illegible]に[illegible]し始め、從來の如く耕作したいと[illegible]ますから[illegible]ながらに願出たが他に許可した後の祭なので仕方がなく今更ながら[illegible]し涙をポタリく

◇東大門署に『キッテ下さい』と云つて[illegible]に來る人があるので警察官は[illegible]をガチヤノくさせて『一體[illegible]を[illegible]るのだ』と聞けば目をパチくさせながら『これは失禮しました』と逃げるやうに出て行く、こんな人[illegible]が日に二三人宛はあると、言ひ遅れて居たが同署は郵便局の隣である

◇これも[illegible]の本町署の事だ、當直の警官がお腹がすいてくる時分になると電話がチリンくとなる、出て見ると天丼を二つ持つて來て下さいよ、とやると[illegible]、何んだこゝは飲食店ではないよと來る、何んだこゝは飲食店ではないよ、と[illegible]同署の二九八の電話番號と天金の五九八とを間違ふからだと……お腹のすいた時の天丼註文の電話は皮肉だネ

朝鮮日報押らる

十七日附朝鮮日報は治安妨害の廉により差押へ處分を受けた

[illegible]職に當り優退三組、一勝一組、不戰二組を殘して快捷した

自殺する女を 助けて情を挑む

府內內資洞一〇一成[illegible]長女[illegible]は五月四日無斷家出し悲觀の末[illegible]自殺と[illegible]め東大門附近を彷徨つく處を府內長沙洞七二[illegible]七（[illegible]）が發見し親の許に連れて行かうと[illegible]の飲食店に連行し果ては東大門外[illegible]離馬里四八某方に同行[illegible]的に[illegible]せしめた上妻になれと迫つた事が東大門署の探知する處となり[illegible]と共も本署に引致して取調べた[illegible]果成[illegible]を兩親に引渡さうとしたが同女は何れかへ移轉し不明の[illegible]東大門署では止むを得ず往十里[illegible]方に下女として住み込ませる事とした

鍾路署の 家族慰安會

十九日朝鮮劇場で開催

鍾路警察署にては來る十九日午前十一時より管內朝鮮劇場に於いて家族慰安會を催し衞生活動寫眞、衞生講話[illegible]あり午後一時よりは更に警察活動寫眞を映寫して午後五時迄署員[illegible]日頃の勞を慰めると

手形を僞造す

府內[illegible]六五一番地[illegible]（二九）は四月六日頃實母の印鑑を僞造し同女名儀の約束手形を作製して鍾路一の三十番地[illegible]商會から價格六百五十圓の物品を詐取賣却し消費した事實を東大門署に探知せられ十五日致引目下取調中である

演藝案內

大正館　●當る十六日より全部取替　批界一の大活劇　自動車活動　[illegible]　全二卷　◎喜劇[illegible]　▲藝妓お艷　全五卷　文部省公認映畫　▲見えざる手　最終篇　全三十四卷

中央館　松竹キネマ特作品　▲森訓導　全三卷　▲輝きの道　全六卷　▲花嫁の怪賊　全五卷

黃金館　▲身代りロメオ　全六卷　▲死に行く妻　全四卷　ファントマ　四卷

喜樂館　▲大閤記活編　一二三卷

浪花館

明治町 電話二六〇 五月十七日より 安來節大會 山本愛太郞 山本浪子 大一座

京龍座

龍山三一番 電話 京阪大歌舞伎 嵐拔昇一座

大正館　ハリケンハッチ　綠の牧場　全八卷

商業登記公告

[illegible]

全州地方法院

商業登記公告

[illegible]

群山支廳

法人登記公告

[illegible]

金堤出張所

商業登記公告

[illegible]

黃州出張所

法人登記公告

[illegible]

義捐金

補助[illegible]　一金參拾圓也　殖銀　一金貳拾圓也　韓一銀行　日計金五拾圓也　累計金九百五圓也

ワダカルシユーム錠

分娩時の 安產のために 姙婦胎兒を保護し 障害を除く

櫛林醫學博士推奬 片瀨醫學博士鑑査

（片瀨博士過說明書進呈）

發賣元 大阪道修町 和田卯助商店

數ある粉乳中 大醫の推奬あるは 唯……本品あるのみ

小兒科 高洲醫學博士 大久保醫學博士 大家酒井醫學士 實驗御推奬

赤ちやんのお乳として 乳の出ぬ產婦の藥用として 脚氣病者胃腸病者の藥餌として コーヒー、紅茶用として 世界的大好評

臭味なく美味 豊かなる滋養 水にも湯にも溶け 値段生乳の三分一

大罐　中罐　小罐

全國藥店食料品店に販賣す

デリゴールド

船來粉乳 サクラヌミルク

日本支那一手販賣元 寶本商山堂 大阪市[illegible]町二丁目

懸賞當選小説

半島の自然と人間（106）

富士澤けい子作　鶴田吾郎畫

奥に行く程楓の木がふえた。路はい繁しげつた枝は、地上にこまやかな影を落としてゐた。風の吹き來るやうに、チラくとこまかに動く、涼しやか陰影を保子はぢつと目をすゑて眺め入つた。足下では潺々たる谷川の音が、近々と身にせまるやうにきこえるのであつた。保子は我を忘れたやうに、ぢつとその音にきゝ入つた。

『自然の中に深く入つて來た』と云ふ事を思はずにはゐられなかつた。しかし今保子の周圍にある自然は、かつて想像したり、人からきいた程險惡なものではなかつた。あくまで幽邃なものであつた。保子はどこまでも一人に山をわけ入りたいやうな氣がするのであつた。

其物相にゆく此道は長安寺へも通ずるやうになつてゐるので、人通りも少しはあつたチリンくとかつかしい鈴の音が聞こえると『ハイノく………』と驢馬に跨つた朝鮮人の旅客が曲り角からあらはれて來た。微笑まずにゐられなかつた、立とまつて見送らずにゐられなかつた。自然の眞ん中に遂ふ人間がたまらなくなつかしかつた。驢馬の落して行つて糞すらなつかしかつた。

道が恐ろしく險しく急になつて來き登るのに困難になつて來た。保子は一生懸命金剛杖をたよりながら登つた。足にいはへつけた草鞋は、踵の方へずり下つたまゝ、もとへ戻る暇がなかつた。

そのうち保子は空腹を感じだした

『小母さんお辨當をたべませんか、お腹がすきませんか………』

保子が下の方をむいて、大きな聲できくと、意外に近いところで、

『へえ——い食べませう、私もお腹がすきました』

と小母さんの聲がきこえた。

『補助員さんお辨當にしませう、お辨當を持つて下りて下さい………』

保子が今度は上の方をむいて、よばはると、補助員さんが、とことこと下りて來た。谷川のほとりで、三人は食事をした。なにしろひどく空腹になつてゐたのできれいに食てしまつた。咽喉がかはけば谷川の水をくんで飲めばよかつた。

『もうどれぐらゐ來たでせうか』

保子が補助員さんにきくと、

『さあ、四分通り來てゐます』

と補助員は云つてゐた。時計を出して見ると、もう二時だつた。のぼりつけば四時にもなるだらうか、それから見物して戻るとすると、途中で日が暮れてしまひはせぬかと心配になつて來た。でもこれ以上いそいで登る事はとてもできなかつた。

ふと立上りかけた保子は何氣なく自分の腰かけてゐた岩の下をのぞいて見ると、そこに一本のビール瓶がかくしてあるのを發見したのだつた

『アラこんなところにビール瓶がかくしてある』

保子が云ふと、小母さんものぞいて見て、

『何か入つて居りますよ』

とおかしさうに手に取り上げて、ふつて見た。中の液體はとこくと音をたてゝなつた。三人は思はず笑ひだした。中は酒らしかつた。

『淺々こゝを通る朝鮮人が、休んだ時に飲まうと思つてかくして居るのでありませう』

補助員さんは笑ひながら云つてゐた。

此大自然の中でも、なほ物をかくさうとする人間の弱さ小さゝを保子は大變面白く、興味深い事に思つたのであつた。三人は又一緒にそろくと登りだした。

京日文苑（投稿歡迎）

短歌　題『紙』　尾上柴舟選
俳句　題『雷』　楠部南崖選
川柳　題『叩』　剣花坊選
締切　五月二十日（各題共）
賞金　天、一圓半、地一圓、人半圓
注意　一題一人五句、各題別紙、用紙半紙、雅號住所氏名明記
京城日報社『京日文苑』宛のこと
其他　各地會報歡迎。

まくわ五句集（京城）

日歸りの小徑登りゆ春の山　青字朗
霞深くかゝりて遠し春の山　三星
海近く走る汽車あり春の山　慈劍
春の山霞の中に明けにけり　楠蔽
春の山小雨に草の香りけり　因牛
駘然と老松に明けゝり春の山　卜閑
峠茶屋に憩ふ女や春の山　俊介
寝て見れば春山窓に近き哉　耕村
春の山登れば眼下野の霞み　契月
春山の麓は暖き牧場かな　和風
名も知らぬ小鳥の出來ぬ春の山　扇洋
終日の雨に暮れけり春の山　潑水
春の山煙のあがる一と所　古楠

川柳　井上剣花坊選

題『店』——

○金二流　海坊主
陳列に御輿の棒が突きあたり
○平壤　靜溪
新婚を記念としての店びらき
○南川　鈴子
買ひさうな顔へ店員移り行く
○京城　和泉守
硝子屋の店に金魚を入れて釣り
○新義州　木通坊
荒物屋旅へ小錢を抛りこみ
糶買者の様に列べる古物店
○京城　閑々子
店先を日和で稼ぐから傘屋
國で見た問屋と違ふ郎馬町
賣仕度すると香具師店人が散り
○永登浦　二葉
夜逃する氣で休業のビラを張り
○龍山　逸風
借のある店は向ふを見て通り
廻してからドラックの店に入り

鬼灯川柳集（四六・金二錢）

『古蚊帳』　五選
停車場へ來ると故郷が眼に浮び　胃洗子
流感に事務所の椅子は淋しがり　圓坊
鶏の初音へ南の窓を明け　一笑
振つたら値を聞いて見る猫の鈴　同
補員で常に觸れになつて來る　鳳山
習友を訪ね逢ひ坂非なり　夢天山
春の風邪を枯葉踊らせる　正樂子
切髪に花屏微妙など云ひ　胃洗子
夜ざくら花見た女工寝付かれず　同
ひねくつて牛が眺める池の坊　五九堂
轉宅の荷物へ古い蚊帳が見え　同

『宣傳』
宣傳の仲氣な鶏を折り　夢天山
節約の宣傳女房横へ向き　五九堂
貰い宗の宣傳のビラは降り　同
物價調節宣傳屋に下げせず　一笑
安い利へ宣傳をする遞信省　同

△結婚記念川柳會　去る十二日仁川文鶴吟社同人八木積柳子氏は別宮趣十雄と結婚したのでそれを祝するため吟社同人相謀り來る十九日午後六時より仁川海岸町堀商會社宅積柳子氏宅にて記念川柳會を開催する由規定左の通り
▲宿題『積柳趣』各題三句吐　土左衛門選及互選
▲締切　五月十八日午後八時
▲席先　仁川海岸町一〇七菊川正樂子方
宿題席題共三才に粗品を出席者には夕食を呈す

◇千流氏送別句會　龍山川柳研究會の同人にして牛島珈瑠の朱興湯援千流氏今回下の關市へ轉居するに就き同友相集り左記の通り送別句會を催す事となつた川柳者申込は成るべく前日まで龍山漢江一一川柳研究會鳥山赤鳥苑のこと
一、日時五月二十日午後六時
一、場所龍山榮町松華
一、會費金一圓五十錢
一、宿題『送別を意味するもの二句持寄』
一、粗酒夕食を呈す

新刊紹介

美術工藝名作集（第一集）　本集は古來無數の名人巨匠の手に成りたる純正美術と工藝美術との精華を悉く精巧なる玻璃版とし製作年代を標記する等藝術家の好資料たるは勿論一般鑑定用として無二のものである（會員組織會費毎月三圓東京牛込築土八幡町美術工藝新聞社）

▲繁榮の基礎（パブソン氏著大日本文明協會譯）吾人の繁榮の基礎は正直。信仰。勤勉。協同であり之れ等が成り立つて各般の生活は榮えるのである本誌は一讀何等かの暗示を獲得し得らるることを信ずる（六十錢東京牛込區水道町文明書院）

▲家庭娯樂（五月）二十錢東京麹町區內幸町一東京毎日新聞社內其社▲鐵道時報（議鮮號）本號六十錢東京京橋區釆女町鐵道時報局▲尺八界（五月）二十一錢東京上野櫻木町東京尺八講習會▲海外（五月）三十五錢東京巣鴨宮仲町海外社▲郊外（創刊號）二十錢東京府下瀧野川西ケ原其社▲ミツワ文庫（五月）十錢東京日本橋區稲町四其發行所▲民勞（五月）三十五錢東京下谷區上根岸町大和民勞會▲圍碁虎之巻（五月）三十五錢東京麻布區富士見町富之日本社へ中央法律新報（五月）二十錢東京麹町區有樂町一其社行を換工▲娯樂世界（六月）本號は怪談號と題し圓右の牡丹燈籠。辰己三郎の小平次怨靈。伯知の紅筆お高等凄艶で興味の多い讀物ばかりである（六十錢東京日本橋區檜物町其社）

讀者

一日の醫學（三年生）へ御世話したし（原州）此相談の上で（明治町二の七六鶏野）▲明治町に惡辣な手段で電話ブローカーを營める者あり被害頗る多く同業者も迷惑を蒙つて居る（鬼耳生）へ女中入用の醫院、丸の內その他の諸氏へ京城案內を利用なさい（係）▲三十歳の女六歳の子を連れて裁縫や家事の手傳へをさせて下さい（旭町K子）▲嬰兒を連れて出來る留守番か適當な仕事はありませんか（吉野町非女）▲業務の餘暇を利用して隔日位に洋服を習ひたし（御關生）▲謄寫版（四六版或は半紙版）の古物又は中古品を譲る方なきや（漢芹洞四三土山正雄）▲謄寫版及び其附屬品讓り受たし（永樂町五三山中金太郎）▲三十日の日曜に鐵公山で無理にカメラにおさめた御方は何故御送り下さいませんか住所まで御きゝになりて少々不都合ちやありませんか（安東縣モデル女）▲私は三週間前より痳病に罹り種々服藥や洗滌をして居りますが一向快くなりません當社の物理療法で確に治りますか治らないものではありません（YS生）△痳病は熱に弱く熱療で熱が續いた後に慢性の痳疾か全く癒つて仕舞ふ事が澤山ありますが物理療法に依つても患部へ直接四十五六度の熱を苦痛なしに保たせる事が出來ます是は熱を通ずるのでは無く肉體に通された無熱線の高週波電流が中へ這入つてから熱に變化するので熟練なる技術を以てすれば理想的に全治しますが前部尿道だけの方が一番早いのです（係）▲子供の顔に擦か出來て困つて居る黄金町の加賀さん妙藥を無償で差上げませう（社內吉留）

春季俳句大會

日時　五月二十日（日）午後零時半開始
會場　本町一不老閣（三越裏通）
特選　武田鶯塘、松澤眞松、加藤雪京各先生（三光短冊呈）
席題　當日發表（五選）
賞品　高點者　鳴雪、小波、鶯塘、雪松各先生讃半折並俳句半折、同上短冊、都堂、梅南支、北陵、菊汀、踏雨、うさぎ長白眉各先生短冊
記念品　京日製牌、霞翁先生真筆高伯合作其他大家揮毫品　鳴雪、小波、鶯塘各先生短冊一葉宛抽籤呈上
會費　金一圓六十錢（茶菓呈）
主催　南柯京城支社
後援　京城日報社

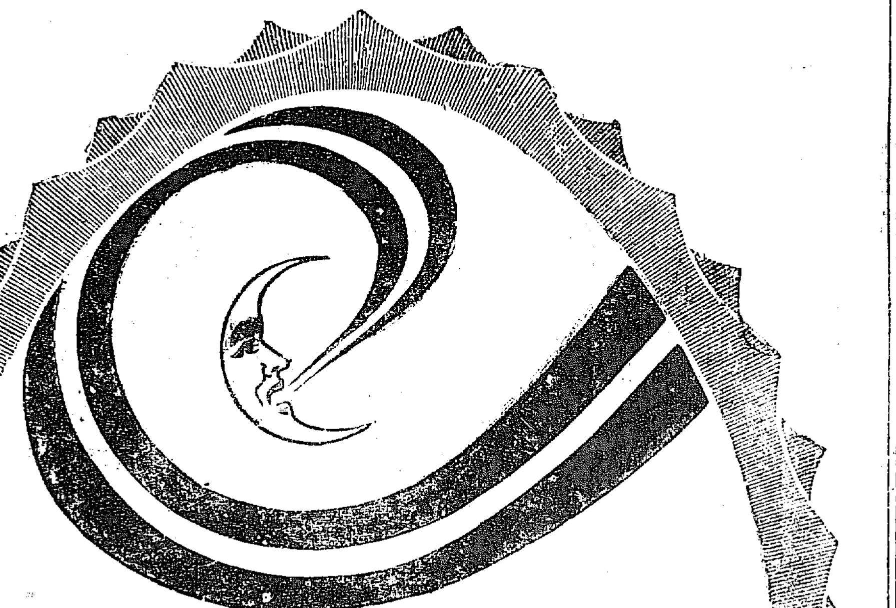
痔疾專門　入院随意
京城久枝肛門病院
京城明治町二ノ三二　電話本局二一〇二番病院用　三七二番宅自用

宮田製
世界最上
高級自轉車
アサヒ
國華
パーソン
サンライズ

◎優良完全耐久力の強靱なる優に他車拾臺以上に匹敵す
各樞要地に代理店あり
東京　宮田製作所名古屋支店　名古屋市西區傳馬町

毛髪が思ふ様になる
艶も香もよい
ホーカーポマード

新荷着御案内
春眠曉を覺へざる好季節
文化的新智識の御家庭へは
舊くて重い大蒲團を退けて
柔かく輕くて溫かい白毛布を
白毛布　純毛　一等　拾貳圓　巾五尺六寸長七尺　目方五百五十匁　小包料一枚ニ付 滿洲 三十六錢
寢室用　同　二等　拾　圓　巾五尺六寸長七尺　目方四百五十匁　朝鮮 六十五錢
同　三等　八　圓　巾五尺六寸長七尺　目方參百五十匁　內地 六十五錢
旅行用　純ラクダ　一等　拾五圓　巾五尺二寸長六尺　目方六百匁　小包料 滿洲 四十五錢
縞毛布　二等　拾四圓　朝鮮 內地 七十五錢
三等　拾三圓
英國織物直輸入
大連大山通り
品質自慢　安賣道樂
白木屋洋服店
電話代表番號五一五七番
振替口座大連五四〇番


創業の精神を今に傳へて三十有數年廉價の良品を主義とする
品質本位
花王石鹸
は年と共に愈々純良愈々廉價江湖の信用を日毎に深めつゝあります
選ばれて　帝國陸海軍　帝國大學醫學部　慶應大學醫學部　鐵道省　赤十字病院　慈惠病院　各府縣立病院　御用
花王石鹸製造元　東京　長瀬商會

朝鮮郵船定期

朝鮮郵船株式會社　電話本局二三・二三・三二番
○釜山支店　佐藤町　電話四六・一二番
○元山支店　海岸通　電話二四〇番
○仁川出張所　海岸町　電話三〇二番
○京城代理店　蓬萊町　電話本局二一七〇番

◎元山代理店　吉田運輸會社
釜山丸　五月廿九日　大阪行
會寧丸　五月廿三日　下關行
寶城丸　五月廿一日　江原道行
立神丸　五月廿五日　敦賀行
平壤丸　五月廿七日　元山直通行
成鏡丸　五月十九日　清津行
京畿丸　五月廿三日　雄基行
釜山丸　五月廿一日　浦鹽行

○釜山代理店　大池回漕部
昌福丸　六月三日　横濱行
忠清丸　五月廿七日　大阪行
會寧丸　五月廿六日　下關行
昌慶丸　五月廿一日　新義州行
釜山丸　五月十九日　北鮮行
釜海丸　五月廿一日　浦鹽行
金剛丸　五月廿一日　鬱陵島行
穩城丸　五月十八日　江原道行
純城丸　五月十九日　木浦行

○木浦代理店　商船合名會社
昌福丸　六月二日　横濱行
忠清丸　五月廿五日　大阪行
宗慶丸　五月十八日　釜山行
慶興丸　五月廿四日　濟州島行
興州丸　五月廿一日　多島海行
全州丸　五月廿七日　仁川行
雄基丸　五月廿六日　新義州行

○仁川取扱店　堀回漕部
昌福丸　五月廿一日　横濱行
忠清丸　五月廿三日　大阪行
濟州丸　五月十七日　新義州行
巨濟丸　五月廿二日　木浦行
全德丸　每週數日　海州行
盛德丸　五月十七日　鎭南浦行
江原丸　五月廿五日　青島芝罘大連行
平安丸　五月廿一日　安東大連青島行

大阪商船出帆

仁川出帆
大阪行（群山木浦經過）
◎甲南丸　月　日午後三時出
△福州丸　月　日午後三時出
×大信丸　月　日午後三時出
×第三世界丸　月　日午後三時出
◎南浦門司神戸大阪行
△先島丸　月　日午後　時出

元山出帆
◎清津行　新高丸　月　日午後四時出帆
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　新高丸　月　日午後五時出帆

大連出帆
◎上海福州基隆高雄行（但し○印は寄港せず）
湖北丸　月　日午前六時出
盛京丸　月　日午後　時出

內地各港出帆主要航路
●歐洲行毎月一回●南米行一年一〇回●濠洲行毎月一回●北米行毎月一回●東南行毎月二回●南洋行同一回
◇印一等客室新造◇印船客御斷
大阪商船株式會社仁川支店　電一〇・一〇・五五
京城　切符發賣取扱所　內國通運會社支店　電話七〇番
事務仲次　京城通り盛旅館　電話二六番
仁川本町四丁目　鎌田組　電話一八四番
荷捌　仁川港町　四田組　電話四二二番

三菱商事　仁川出入

○往航
居道大阪行
三瓶山丸　月二十九日入港　月　日出港
長浦丸　月廿六日入港　月廿二日出港
鎭南浦行
長浦丸　月十二日入港　月十三日出港
三菱株式會社船舶部
仁川代理店
浦崎商店回漕部
仁川本町四丁目　電話長五〇・一〇八番

佐須奈比田勝嚴原蔵　博多行
汽船　蛟龍丸
五月十六日午前六時釜山出帆
次回十九日、廿二日、廿五日、廿八日
貨客一級船重量一千七噸
速力一時間平均十一哩
釜山驛前　玄洋汽船組合代理店
玄洋社　電話六六一番

[illegible]

京城日報 夕刊

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金壹圓五十錢
廣告料 普通 一行金壹圓 ...
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話長五六番 振替京城三〇二番

帝國は對露方針を變へぬ
部分的豫備交渉の容認は考へ物

【東京電報】第三次日露交渉問題に對する政府の態度は過般決定した根本方針を何等變更する事なく即ちヨッフェ氏は第一に正式交渉に入るに先立ち兩國は對等の關係に立ちて交渉する事勞農政府の正式承認薩哈嗹撤兵の時期聲明の三箇條を要求し居りて第二次的に漁業約の廢棄、尼港事件の解決等の交渉に入りたしとの要求を提示し來たれるもので之に對し政府は本交渉に入るに先立ち之が前提として三ヶ條に對し承認を與へる事は政府として危險を冒險する事となる即ち豫備交渉で三ヶ條の要求を容るゝとせば若し正規交渉不調に終れりとするも豫備交渉にて取極めし以上結局正式承認を餘儀なくさるゝ事となり政府は拔き差しならぬ破目に陷る結果となる故に此際政府は是等條件全部を一括交渉するならば兎も角從來の方針を變へずと

兩國條件緩和
後藤子本交渉に一縷の望を托す

【東京電報】十五日午後觀見の穗積氏は露西亞側の提出に係る日露交渉は精密にヨッフェ氏を訪問一時半辭去せり氏は語る基本條件の條文が著しく緩和されて行はる事となるべく今日の會見は結局後藤子自身も此の基本條件は三月二十六日以來のヨッフェ氏と後藤子との會見記錄が日露兩文で出來て居るので條文に聞き違ひなきかと重要の箇所に就き念を押したのであると右に就き十五日後藤子を訪問せる某氏の談に依れば右の會見は高價なるものにて特に重要なる一四、五日間延期されると

日本國民は悉く
日露親交の要を
認め出したと露紙の空想的評論

【ウラヂオ十四日發電】露西亞國内諸新聞紙は何れも數段に亘り露國の對外關係問題を評論して居る特に對日本關係に就いては甘い夢の樣な空想的な字句を並べて居る某新聞は曰くヨッフェ氏が東京に到着するや全日本國民は同氏を歡迎して露國に對する同情を披瀝した日本國民は上流より下層に至る迄擧つて其態度を變じ日本露西亞兩國間の親交の必要を認める樣になつたと

白國罷業惡化
政府兵士全員に動員令を下す

【倫敦十四日發電】白耳義に於ける鐵道從業員電信局員及び郵便局員の同盟罷業は形勢益々惡化するので政府は千九百十五年乃至千九百二十二年度の兵士全員に對し動員令を發し動員令を拒絶するものは軍法會議に附すべき旨を發表した

加々美氏を近く釋放

【東京電報】十五日の外務省公報に依れば臨城事件執行委員會外務部長ヘーピン氏に對し交通總長代理から過般來數次交渉中であつた加々美内務事務官監禁事件に關しては十四日執行委員會の名を以て既に大體の取調べを終つたから四五日中には同事務官を釋放する旨正式に回答があつたと

南北和平裁兵會設立

【北京十五日發電】十五日北京に南北和平裁兵會設立され其發會式を擧行したが集會者は革政派有志約三百名にして十七日中央公園に官民懇親會を催す筈である

土匪に官兵攻撃さる

【奉天十四日發電】十四日官兵が圍みを解くや土匪は甘く東を指き逃亡せる匪賊と山寨匪の聯絡を取り官兵に砲撃を加へた爲に官兵即死一名重傷二名を出し土匪は十四日夜山寨に大評議を開いた交渉は埒が明きさうにもない

對支借欵處分
藏相は好意的解決に努めるらしい

【東京電報】興銀、臺銀、鮮銀の三銀行は寺内内閣の命を受け支那借欵一億圓に應募したるが其後同内閣の瓦解と共に我國の對支政策の一變を來たし右借欵契約の目的を貫徹し得ざる狀態となつたに加へ支那の財政は益々紊亂し財政上全く行詰りとなり借欵元金の償還を爲せざるのみならず年々の利子支拂さへ延滯し昨年春迄の延滯利子を新借款の契約に加へ之に對して塩税剩餘金の一部を擔保とし一時を彌縫して來た然るに其後支那政府が依然借欵の利子支拂を實行せざるを以て前記三銀行は其處分に苦しみ我政府に對し適當の解決策を求めて來た然し現市來藏相は寺内内閣時代の大藏次官であつた關係もあり大體好意的解決を惜まない意見を有して居るので興業銀行は來る七月七日償還期限に達する興業債券五千萬圓を借替るため大藏省の援助を求めたると共に支那政府延滯利子の處分に就き藏相の諒解を得る事に努めて居るので一同政府保證の興業債券五千萬圓を借替るため大藏省の援助を求めたるが多分延滯利子に就いては之に相當する現金を預金より三銀行に貸付け其の營業上の收支をして適合せしむる事となるかも知れぬ

日本船員排日暴徒に襲はる

【上海十四日發電】日清汽船の大吉丸は十日朝沙市に入港の際排日暴徒に襲はれ危險の爲荷役を急ぎ十一日朝發同日夕宜昌に入港せんとする際又もや暴徒は邦人に危害を加へ危險の爲船員の上陸を禁止したが支那人二名は暴徒の脅迫に依り荷役も出來ぬと

東拓總裁に安樂氏推薦說

【東京電報】來る十二月任期滿了となる石塚東拓總裁の後任として床次氏が安樂兼道氏を推薦したと傳へらる

加藤首相發熱
後藤子との會見は延期

【東京電報】加藤首相は十五日午後四時官邸に歸ると間もなく發熱し三十八度四分に達したので鈴木軍醫總監の診斷を受けたが風邪で別に心配する程の事もないが其爲め十六日の後藤子との會見は延期となつた尚首相は漁業協定につき十七、八日の頃青山五丁目の新邸に移る筈である

海軍首腦異動

【東京電報】岡田艦政本部長が海軍次官に艦政本部長には加藤末八郎が保中將が任命される筈で井出次官は將官會議議員に任命されるであらうと

澁澤子を東京市長に推薦

【東京電報】東京市長、候補者に關する第五回銓衡委員懇親會は十五日午後六時半より築地精養軒に開會し各派一致して澁澤子推薦に決した又東京市會の中立俱樂部も十五日正午より工業俱樂部に總會を開き澁澤氏推薦に全會一致で決した

師範教育改善協議

【東京電報】師範教育の改善を目的として成れる師範教育改善調査會は十五日夜帝國教育會に理事會を開き各府縣師範學校を東門學校程度の組織とし東京奈良の兩女子高等師範學校を大學に昇格するに協議一致し十六、十七の兩日大會を開くに決した

安徽護照停止

今回東邊道尹公署王交渉委員より安東領事館に宛てたる通報に依れば目下安徽省新軍組織漸く成り土匪騷擾を鎮むるを以て外國人の旅行危險なるより同方面への旅行者に對しては當分護照の發給方を停止すと(安東)

有望なる鉛鑛

慶州城外約一里の地(?)に有望なる鉛鑛を發見(?)... (記事判讀困難)

政務總監訓示(二)

道知事會議に於ける有吉政務總監の訓示の要旨は左の如くである

近時靑年の間に向學心の旺になれることは寔に欣ぶべきものがありますが之は寔に結構のことではありますが之と同時に又彼等の反省を促すの必要もあるのであります教育は人文の發達を圖る上に於て最も大切なる要件でありますから總督府は之に向つて多大の力を致し普通教育に付ては既に昨年度に於て三面一校の制度を完成しましたが本年度より更に須要なる處には之れが任意設置の途を開くと共に經常費に對しては他と均しく補助を與ふることゝして益々之が普及を圖つて居ります。

又中等教育に付ては各道に高等普通學校を配置することゝし今や設置を見ざるもの二道にして之が配置を完成する近きにあらむとする實況であります、而して專門教育に付ては既に高等農林高等商業高等工業醫學專門學校の施設がありますが尚進むで大學を設置せんとし本年度に於て大學豫科の校舍を建築し明年度より開校する筈でありますから之が卒業生の出づる迄には大學の設備も完成を見るであります

斯の如く總督府は教育に付ては力を用ゐて居るのでありますから向學心の盛になるに至つたのは寔に滿足する所でありますが之が現況を見て竊に憂慮を禁ずる能はざるものがあるのであります其一つは此の向學心の甚だ浮薄なる風潮より出でゝ居ると云ふことであります即ち僅に物を學ぶと云ふ志なく唯學校卒業と云ふ名を得ることに汲々たる結果自ら其の力を測らず徒に高等の學校に入らむとを望むと云ふ風のあることであります他の一つは自家の環境を顧みず他の家族は饑餓に泣くも自分が教育を受ければ可なりとする傾向が靑年間に見えることであります

教育を受けむとする熱心は寔に嘉すべきことでありますが之は孰れも教育と云ふものに付充分なる理解を以て後のことであります教育と云ふ事柄に付て何等の理解もなく前に述べたる如く單に自己の名のみに拘泥する結果と卒業するも相當の職を得る能はず自家のみならず家族にも累を及ぼすの慮が非常なる窮境に陷るのみならず却て一家族に迄も累を及ぼすことがあるのは實に憂ふべきことでありますから向學心の勃興は寔に結構ではありますが之に對し充分なる理解を以て相當なる教育を受けしむる樣注意を與ふることが肝要であると信じますから諸君は機會のある毎に或は父兄に對し或は靑年に對し常に其指導を與へらるゝ樣に努められむことを望みます

今日朝鮮に於て最も重要なる問題は其の經濟上の發達を圖ると云ふことに在るのであります而して經濟の發達を圖るに必要なる事項は資本を潤澤ならしむること、確實なる企業を奬勵することゝの二つに歸着するのでありますが朝鮮は由來輸移入超過の地方であるので資金は別に方法を講ずるに非ざれば他に吸收さるゝのであります從て總督府設置以來或は國庫補充金として或は民間企業資金として或は借入金として種々の方法を以て内地資金吸收の途を講じたるに拘らず明治四十三年より大正十年に至る間に於て資金の輸移入額は十億九千餘萬圓に達したのも貨物支拂として支出した金額は十四億四千餘萬圓に上り差引十二年間に三億五千餘萬圓の資金が流出した狀況で今後に於ても鮮内の資金の充實を圖るに付ては一方に於ては今一層生産を增加し輸移出を盛ならしむると共に他方確實なる諸種の計畫を樹て資本を招致するの途を講ずることが肝要であります

之に付ては本府に於ても既に已に種々畫策する所があるのみならず諸君に於ても亦能く之に策應し協力せらるゝ所抄からざるものあるは私の能く承知して居る所であります

漁業低利資金を
農業方面と對等ならしめよ
水產會の設置で便利になつたが

第四十六議會には水產銀行特設の案件が提出されたのであつたが朝鮮に於ても漁業の發達を期し水產界の體ある時代に策應することが出來ないので更に現在の狀態では如何にある右に就き某有力者は語る朝鮮に於ける水產事業に對しては從來の當局の指導並に施設は農業方面と對比するときは甚だしく冷遇されて居つたと云ふ實は否定することは出來ないので此の朝鮮が近海に於ける漁業の脚下に於て水產事業の將來が施設とこれに伴ふ資金融通を潤澤にするに於ては如何に有望であり光明に輝いて居る

魚族が豐富

であり從て重要物產の一であることは出來ないのである其の運命を左右さるゝ時代になつて如何は一に資金の消長如何に依つて居るのである其の資金を左右する時代になつて如何は一に資金の消長如何に依つてあるのであるが故に朝鮮に於ける水產業當面の問題は實に漁業金融の問題を解決することにあるのである今日までの朝鮮の漁業資金に一瞥を投じて見ると大正元年の

漁業投資額

は漁船百五十七萬圓漁具百六十五萬八千圓運轉資金九十五萬二千圓合計四百二十七萬圓に過ぎなかつたが同八年中の漁業投資額は漁船二千百十三萬九千圓漁具一千八十一萬七千圓運轉資金六百五十一萬八千圓合計三千八百四十七萬五千圓の巨額に達した更に之を細別すると内地經營者自身の投資に係るもの一千百三十九萬五千圓他より借入れたるもの一千七百七萬九千圓であるが此の内百四十一萬八千圓は殖產銀行東拓會社朝鮮銀行と鮮内在所の漁業組合等より借入れたものであり有意なるに著目し將來に於ける彈丸以て經營者邦人資本に對し共同經營を遂行せる由にて近く實現すべく調査されて居る

全鮮商議聯合大會

全鮮商議聯合大會(京城商業會議所にて……十六日)

所在の森林鑛山は由來朝鮮に於ける唯一の鉅鑛として相當成績を擧げつゝあるも何分交通不便なる爲め未だ多く世人の知る所とならず經營文化的小規模に行はれつゝありしが今回慶尚北道長氏は該鑛山の有望なるに著目し將來に於ける唯一の財源となすべき目的を以て經營者邦人資本に對し共同經營の有利なることを遂行せる由にて近く實現すべく調査されて居る

低利資金て

あるとは言ふもの五百二十六萬五千圓は内地に主たる根據を有する魚類輸出販賣業者の貸出に係り漁撈業資金を條件としたものであつて貸出利息は市場を標準し其の漁獲物は下關市場の時價に三分の一内外の廉價を以て取引を爲してゐるの實況であるので漁撈業者は千三十九萬五千圓は專ら朝鮮内に於ける水產物問屋及地方金貸業者の貸出に係り年三割以上の高利を借受け加ふるにその漁獲物は時價に比して非常な低廉な相場で引渡すのを常としてゐるからこれを積算すると借入金額に對し少くも

年五割以上

の高利を拂ふてゐるの現狀であるから漁民の負擔は加重であるのである而して朝鮮產業に關する特殊金融機關が產業資金として貸出してゐるのは大正八年末では殖產銀行七千十八萬三千圓を殖產するものである

水產事業は

殆と其の總てが漁業組合に於て取扱はれてゐる而して漁業者は其の取扱資金は三百八萬八千圓二千九百四十八萬圓、工業資金五百四十八萬二千圓の内水產資金は百十二萬九千圓で總額の百分の一にも達せざる狀態である斯の如く低利資金の融通は惠に與るを得ず又一般の資金は非常な高利の下に融通されるのは寔に水產業者の無資力と漁業の不安とに歸因するものであらうがその漁業者の不利益な漁業發展上の支障たるや決して少なるものではないのである茲に鑑みて當局は水產會令を發布し水產會を設け以てこの漁業金融の途を考慮することゝなつたのは大いに斯業の爲め慶賀すべきことであるが漁業界の實際を考へて見ると朝鮮の水產業はその產業發展上から見て農業と同樣の便宜を與へる事は必要であらう少くも低利資金の融通を爲すべきものであることは確かである

浦鹽日貨通用禁止
極東銀行新紙幣の發行前提か

浦鹽取扱店よりの來電に依れば浦鹽稅關は其他へ輸入する一切の納入金は從來日本紙幣を充當してゐたが去る八日以來之れを使用を禁止し專ら露國紙幣を以てする事となつたので關稅納入其他邦人の取引上非常な支障を來してゐるらしい右に付鮮銀當局では「鮮銀に於て日本紙幣使用禁止は大きな影響はない何分鮮銀支店は極東銀行が近く紙幣を發行するので斯る處置を爲したものだらう併し朝鮮銀行の業務には差支はない」と府の方針だから今後何時右の法令を徹底するか分つたもので無いが未だ支那から詳細な報告が無いから其邊は一向分らない事だ但し支店の營業上には何等支障を來して居らぬやうだ」と

知事會議第二日

道知事會議第二日は十六日午前九時半より總督府第二會議室に於て開催し有吉政務總監統裁の下に前日に引續き午前午後共指示事項につき說明ありて午後四時散會した

全鮮商議大會
四大要望貫徹討議
……第一日午前中……

第六回全鮮商業會議所聯合大會は既報の如く十六日午前十時三十分より京城商業會議所で開かれた。出席者(略)は左の通り正規の委員二十七名、番外有志三十名(京城商議所員以外の出席申込者)は右朝鮮所外の商議所より七名の外來賓として澤山商工課事務官を加へ二十六名以て開會された(略)次に規程により議長の指名に依り釜山の鑄島市平氏と決定し直に鈴木氏が壇上に起立議事に對する四大要望事項の經過につき說明をなし次いで議論に入る

▲鑄島志堅氏(平壤)「志岐君の言ふ如く不屈不撓の精神で運動を繼續すれば我々の目的は達せられる又是志岐氏の云へる運動機關設置については中央機關たる此聯合會に一任したい」

▲花崎熊太郎氏(全山)に關聯し鈴木釜山會長よりも大いなる漁業獎勵の目的を達するには官民協力一致するに據らねばならぬ、それには會議所が主体となつて具體的に運動方法を考へたい」

▲小林丈二氏(平壤)志岐君の云ふ通り當局者は朝鮮の事情を知らぬやうに思ふ。殊に内地當局は朝鮮を視るに先づ軍事的立場で見る之はよくない、又理事者等が私財を投じて運動するのは氣の毒である何とか途をかけぬやうにしたい

▲賀田直治氏 釘本氏の指名で立ち「私設運動の經過は御承知の事と思ふが組合年限十年を十五年金額二百五十萬圓を三百萬圓にしたのは成功であると思ふ、二千萬圓の社債元利償還を政府で保證する事は成功しなかつたが之れで如何にかゝる私設の合同は近く實現するかゞわかる事だ。又政府が朝鮮の私鐵を重視せるかゞ之れで會社の信用も增し鐵道速成には相當効果があらう。又内地の資本技術を朝鮮に入れるが最も大切であるが、之を如何にして實現するかを研究しなければならぬ。之れは經濟界の法則通り自然内に

▲花崎長次郎氏 是又法則に於ける運動の要を說き鈴木澁(?)藤田久郎氏亦も同じ事柄を述べ賛成の意を表す。此時

地側から資本や技術が朝鮮に入りやすい樣にせねばならぬ之には志岐君の說の如く會議所の聯合會以外產業振興會と云ふ樣な機關を設けて研究する事が必要であらう」

▲大村京商副會長 皆樣の云はれた通り朝鮮事情が内地に理解されて來たのは喜ばしいが、又内地の或る人々の間には『朝鮮の事情は内地人よりも直接鮮人から聞き度い』と云ふ意見もあるやうだ又先日來鮮された福田博士が現にさう云ふて居た。又朝鮮に於ける内地人の勢力が伸びないのは消極で東拓の如きも兎角朝鮮を困却し跡であるが之れは寺内總督時代に土地賣却を禁止された結果で寺内總督の方針はあまり思はしくなかつた。齋藤總督時代になつてから萬事内地同樣にしたいと云ふので移入稅の撤廢も實現されるやうになつた然るにある人々は朝鮮舊慣の爲之に反對してる、それで内地の内地人側では怪しからん事だと云ふ一方鮮人側は國產獎勵なんと云ふて内地品排斥をやつてゐる。それで内地の人は朝鮮の内地人は色々要求して來るが、鮮人は何も云ふて來ぬ、之れは在鮮内地人だけの要求で一般鮮人の聲はきかれぬ」と云ふてる、だから我々は先づ鮮人實業家の協力を得る必要があるそれでなく國然運動しても駄目である。斯く内地の朝鮮觀も祖々あつて委しく我々に都合よい者とは云へぬ我々は先内地人の朝鮮觀を一定させ然る後運動せねばならぬ」次いで岩男百濟君登壇を述べ釘本氏の議事進行に關する意見ありて休憩

英國艦隊寄港

英國支那艦隊のダーバン號は十六日元山に二日釜山に六日仁川へ夫れ〴〵寄港すると

新聞協會より謝電

十五日午後十一時四十分時に安東縣を出發せんとする新聞協會員一行から本社に宛て左の電報を寄せて來た

大會は總て成功を以て終る國境を去るに際し深厚なる御厚意に對し感謝の意を表す

小包郵便取扱數

京城郵便局取扱小包郵便物數は四月中受一萬三千七百六十個差立一萬七千百一個にして之を前年同月に比較すれば受一一〇厘差立六厘の減少である

安東鐵道事務所開所

滿鐵本社の職制改正に因つて新設せられた安東鐵道事務所(地方の工務)事務所と運輸事務所を併合せるもの)は十六日より事務を開始した

人事消息

▲片山義勝博士(鮮銀理事)十六日朝發大連へ赴任

▲池田卓藏氏(軍隊經理部長)馬西側生狀況並に陸軍材料附圖查閱の爲め十五日出發羅南茂山會寧鏡城雄基咸興地方へ出張六月八日歸任

▲谷林軍經理部長 南鮮部隊會計經理檢查、並に軍用地建物視察の爲め十八日より大田、大邱、晋州、馬山、鎭海、釜山へ出張四日歸任

▲川江秀雄氏(京管局參事)十五日午後十時歸任

▲シベレフ中將(露國避難民代表)一行十八日東京出發元山に歸る筈

茶話

▲私鐵合同も漸く契約が出來た▲藤村(?)氏は財部大將が親任された▲加々美事務官も四五日中に釋放すると回答があつた▲ママあちらを見てもこちらをみてもマ結構なことだ▲例の興銀、臺銀、鮮銀の三銀行應募の支那借欵一億圓の始末はいろんな臆說を生んでゐる▲白耳義鐵道從業員電信局員と郵便局員の同盟罷業は益々惡化とある▲沙市宜昌に排日暴徒が起り碇泊中の船舶に危害を加へたと上海電報は傳へてゐる▲どれもこれも感心の出來ないことばかりだ▲東拓幹部の改選期となつたが現石塚總裁始め朝鮮出身の幹部となつてから本店を東京へ移した▲朝鮮の所在地の改選も行つて貰ひたいもんだ

法人登記公告

立石金融組合登記事項中變更(?)... 大正拾貳年四月三十日(?)... 平安南道平原郡... 大正拾貳年五月参日登記 平壤地方法院安州支廳

公告

京城公立農業學校用地内林野立木五一杉松樹材壹萬九千壹百六拾参尺九外六點右賣拂ス詳細ハ五月十六日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

大正十二年五月 京城鐵道

戰爭購買 遞信局
一、入札 小判西洋紙外七拾貳點
詳細ハ五月十七日ノ本府官報ニ在リ

北滿ホテル
哈爾賓
ロシアを解せんとせらるゝ御方は先づ當地へ御來遊願上候
大食堂にて毎夜ロシア名物カバレー劇を開催致居候

京日案内

九號活字十六字詰五行一回壹圓五十錢隔日掲載名入遞回毎ニ貳拾錢增料金八前納ノ事

入用
小店員 内地人に限る年齢十五歳以上十七歳迄小學校卒業程度の者保證人を要す 長谷川町七六 近藤洋紙店印刷部

看護
婦及見習若干名至急採用 希望者は本人來談のこと 仁川 佐川仲町 醫院

觀相
石龍子先生直傳 從五位勲五等(觀相)酒井三郎 京城本町五丁目八十一番地

中古
▲ミシン用針油部分品御小賣上▲ミシン買入ます御希望の方は御一報次第參上 京城鍾路二丁目 電本二三三八番 備商會

恩給
年金退職料扶助料低利立替及ビ軍事郵金保管通帳有價證券買入レ 京城古市町三ノ江州屋本店假營業所

法律
事件相談其他取立依頼の件介人事訴訟辯護其他一切取扱申候 京城府南大門通二丁目朝鮮勸農(?)階上

古本
●高價買入●是非御試賣を乞ふ●御報次第參上仕る可く候●電話本九七〇番 京城本町二丁目 群書堂

賣家
所在地西大門町(?)靜なる住宅向新建十六坪三間希望者は左記へ御來談若くは紹介あれ 社内 石川

電話
讓渡三ヶ番號格安 希望者は左に御照會下さい 電話本局二九七番へ

女兒
生後五十日發育良好正しい母に死に別れた可愛い女兒家へ貰はれたし 京城黃金町三ノ一三 三浦商會

採用
印刷部外務員拾五名朝鮮事業に熱心なる工新聞外務員十名若干采募す希望者履歷書携帶來社 京城明治町一ノ四〇 朝鮮商工印刷株式會社

賣家
住宅向平家建瓦葺十八坪七合 希望の方は 坪數拾七坪五勺 電話本局九八九番 黃金町三ノ三〇二 犬島へ

特別欄

バイオリン尺八
通信教授 何人もスグ上達する新發明講義錄くわしき規則(郵券二錢)進呈 大日本家庭音樂會 福岡市中島七〇

甘藷苗
(さつまいも苗)千本價格にて分譲す、御照會あれ 京城府外漢江通 京城支店 種苗部 參農園

推薦廣告

右仁川學校組合會議員最適任ト認メ茲ニ推薦ス

藤井八重藏君

大分縣人會有志
仁川有權者有志

下痢、腹痛、胃腸カタルには
健胃固腸丸
家庭と旅行に御用意
東京 大阪 谷回春堂

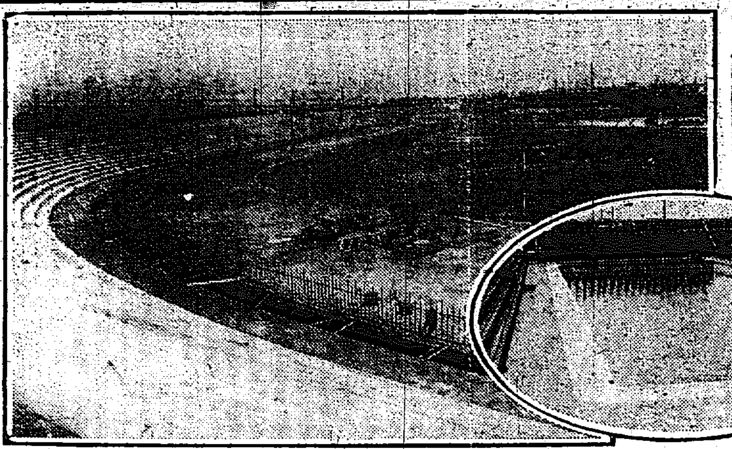
弊出張所開設以來格別の御引立を蒙り難有御禮申上候陳者五月三日より製作部開始致し製品は惣て東京本店製作部の特製に係るものに候へば技巧秀拔素より喋々を要せず所用地金の質實に至ては江湖已に定評有之候儀に付本店同樣一層御眷顧御用命の程切に奉冀候

金銀白金地金及貴金屬美術品
京城明治町一丁目
德力本店京城出張所
電話本局二五七二
振替京城二三四番

京城府旭町一丁目(電話本局六九二番病院用)(同三六九四院長用)
内科 小兒科
小林病院
院長 醫學士 小林千壽
入院 個室(普通病室)(隔離病室)

極東競技大會の會場

(上)大トラツクの一部 (下)氷(水)泳プール



極東大會氣分漂ふ 大提灯行列を擧行 秩父總裁宮奉迎の爲

オリンピツク總裁として御下阪の秩父宮殿下には二十一日二、三日三日間競技を臺覽の筈であるが大阪では殿下の御來阪は初めてのことにて池上市長は大阪商業會議所會頭と協議し二十三日夜一萬餘の大提灯行列を擧行すると(大阪電報)

比、支選手來朝す 十五日相前後して神戸着 梅田は旗の波人の波

第六回極東オリンピツク大會に出場すべき比律賓選手と支那選手を乘せた郵船熊野丸(支那庭球選手のみ)及びアドミラル、ライプレシデントムグランドの二船は十五日午前十時相前後して何れも神戸に入港歡迎委員長伊藤忠兵衛氏大會總務委員高橋要氏其他多數の歡迎者に迎へられて比、支那選手共歡呼に滿つ中に神戸に一泊十六日午後三時大阪に赴く事とし比律賓選手のみ總勢百九十七名は即日阪急電車にて大阪に向ふ此日梅田阪急驛前は此勇者を迎ふべく人山を築き一行の電車午後零時五十七分大阪に着するや萬歳を交し直に旗の波、人の波の中を自動車三十餘臺に分乘市總前に乘り夫れより一路大運動場に向つた(大阪電報)

世界記録を突破する カタロンの意氣込

三十餘臺の自動車に分乘した比選手の一行が終點に向ふ途中市岡中學附近に來た時一〇一六號自動車が突如電車のセンタアボウルに衝突しこれが爲め乘つて居た野球選手モンタルボ(二〇)アリユウスン氏は負傷したが直に最寄醫師に手當を受た、斯て一行は午後二時十分運動場に着しサンドウイツチの饗應を受けた、比島短距離の猛者カタロンは多く語らなかつたが僚友カスチロン君は語る『カタロン君は最近百碼を九秒五分の四で走つて居るが今度は世界記録をも破る意氣込みで九秒五分の三までは確だと思ふ』(大阪電報)

直指寺釋尊祭 臨時列車運轉

京釜線金泉秋風嶺間鐵松信號所附近にある直指寺では來る二十二日より三日間釋尊降誕祭執行につき京管局は參詣者の便を圖り客車増結並に左記の通り臨時列車を運轉する

▲金泉發二十二日午後零時十五分秋風嶺着午後一時十七分▲秋風嶺發二十三日午後三時四十分金泉着午後五時四十七分

石で頭を割る 醉漢同士の喧嘩

府内黄金町五丁目五番地京城乘馬俱樂部馬丁林鳳顯(二三)は十六日午前二時頃泥醉の上鍾路五丁目で之も泥醉せる同町一丁目一九七番地金敬化(三三)と喧嘩を始め林は傍にあつた石塊を以て金の後頭部に全治十日間を要する負傷をさせたので大騷ぎとなり東大門署に檢束された

情夫の枕もとで 毒を呑んだ娼妓 新町遊廓汲月樓のお職 生命には別條がない

府内新町遊廓貸座敷汲月樓こと福島モト方娼妓京都府河東村生れ金本鈴子(二二)は汲月樓でも流行兒でお職を張つて居る譯であるが十五日午後九時頃かねて夫婦約束をして居た情夫山崎某(二七)が登樓した處樋子に客を取つて居たので餘方なく……言を喰つた樋子は持病のヒステリーを起し豫て明治町喜田材料店の藥末より購入した現像用の硝酸銀を懐にして受けた小鈴の部屋を訪れ小鈴を室外に呼び出し其足で就寢中の山崎を搖り起して恨みの言葉を浴びせかけ兩眼を泣き腫らして居たが十六日午前三時半頃硝酸銀約六十グラムを嚥み下し自殺を圖つた山崎も餘りの仕打に一時は吃驚仰天したが直に帳場に告げ新町病院へ收容して應急手當を施した結果生命には別條ないと

毎晩石の雨 鮮人の惡戲か

府内竹添町一の七五番地片山藏三方へ毎晩のやうに投石する者があり十五日も午後八時頃客に投石するので業をにやし西大門署へ屆け出た多分附近に居住する鮮人が惡戲したものらしく目下犯人を搜索して居る

道行き藝妓

京畿道水原料理業末廣事□刀根安吉方抱藝妓ン茶事山本ハルエ(二三)は情夫なる同町理髪職平田一郎(二〇)と諜し合せ前借二千餘圓を踏み倒し十日午前八時頃何れへか逃走したが最近大田に潜伏して居る形跡があるので抱主が大田警察署へ搜査方を願出た(大田)

三人組の詐欺

府内仁寺洞一五六番地汶山旅館内高見岡(二)は十五日午後六時頃西大門町附近を通行中一面識もない鮮人三名と道連れになり馴々しく言葉を交はす内一名が財袋を落したのを他の一名が拾ひ落し主に返した處汝も所持金を落してはならないから預つて置くと現金五十圓を預かり隙の際に乘じて逃走した、屆出に依り鍾路署では各署に手配りし犯人搜査中である

生活難の自殺

府内紅把洞五五番地果物商□□□(二)は十五日午後十一時頃自宅温突で亞砒酸を嚥下し自殺を圖り苦悶する所を家人に發見され應急手當を施したが間もなく絶切れた、原因は生活困難よりの厭世に及んだものらしい

新町裏の野火

十五日午後三時半頃新町病院裏手に當る國有林草原より失火し大事に至らんとする所へ南大門消防隊出動し消火に努めた結果二十坪半を燒失消し止めたが原因は煙草の火らしい

學生の音樂會

延禧專門學校の學生聯合會では今夏巡廻行する學生巡廻宣傳の費用に充つるため十八日午後八時半分から鍾路中央青年會館に於て音樂會を開催府内各女學校……

混戰や活劇が 間際になつたら 演ぜられるらしい形勢 近づいた學議の選擧

京城學校組合會議員選擧有權者總數は二萬二千四百五十八人であるが此の內官廳側が三千三百二十人で官廳以外のものが九千百三十人で更に官廳側を區分すると總督府が二百二十九人、鐵道局が百八十八人、遞信局が六十六人、公立小普學校教員が二百五十人、府廳が百六十六人、……が九百八十一人其他の官吏が千二百九十八名と云ふ數である、若し總督府系から一名、遞信系から二名、……から二名出るものとすれば約五名で三千三百二十票を得るもので一人の平均得票は六百六十餘票となる、而して民間側から十三名出ねばならぬ事になるが十三人で九千百三十票を得るとすれば一人平均七百餘票となる譯である然るに事實に於ては立候補者の數も定數よりは多かるべく且又棄權者も相當ある見込であれば其得票は區々で又案外甚だしい差異を生ずることであらうと觀測されて居るが、目下の所は意外に靜寂を裝つて居るけれども間際になつたら必ず猛烈な運動の活劇が演ぜらるゝだらうと多大の興味を以て期待して居る向きもある

判取帳の印紙税は 矢張二十五錢

本年四月一日から印紙税法が改正された夫れに伴つて一部税額の變動を生じたが其内で最も誤解されて居るのは判取帳の税額である、判取帳は從來二十五錢であつて改正の結果も……勢の馳なく依然二十五錢の印紙を貼付せねばならぬのである、若し之に違反する時は二十倍の罰金を徴せらるゝ事になつて居るから注意せねばならぬと當局者は語つて居た

軍事研究團は 解散と決定

早稻田の學生間に紛糾を起した軍事研究團は十五日午後四時團長青柳教授から解散する旨を聲明し氏は解散を學校に屆出づるとゝもに學校より身を退く旨を聲明した(東京電報)

飛行中火災 搭乘者は死傷

【巴里十四日發電】巴里倫敦間の定期航空に從事する一飛行機は操縦者の外に機關士一名乘客約三名を乘せ飛行中火災を起し墜落搭乘者全部死傷した

『懇切』『正確』『迅速』 是を標語として執務 すると云ふ京城府廳 窓口には優秀な人物を配置する

近頃京城府廳の何の課を歩いて見ても壁や柱に赤地の紙に白文字で『懇切』『正確』『迅速』の文句を書いたものが貼つてある、一見して成る程之が府廳の執務上の標語だなと頷かれる、栗原課長が之に就て語る所を聞けば府廳の職員は民衆に接する第一線に立つて居るのである、されば其の接待に就いて從來も充分注意はして來たもの、色々苦情を聞かされたものを使つて之が改善を計ることは最も緊急事であつたので先づ案内者を配置して民衆の便宜を計ることにした、如何しても府廳の仕事は第一に親切でなければならぬ、中でも窓口に居るものが最も直接に接するのであるから其の人選にも相當注意せねばならぬ從來は窓口には多く下級者を配置して居たが之は間違つた方法で最も事務に精通した而も內鮮語に通ずる優秀な人物を配置して民衆の便宜を計らねばならぬと云ふ方針である尚大に多くの事務を取り捌かねばならぬから迅速でなければならぬ併し幾ら迅くても間違つて再び遣り直す様な事では結局駄目だから一方に於て正確でなければならぬ此の三標語は決して耳新しい言葉ではないが之を直に執務上のモツトーとして大に改善を計り將來新廳舍でも出來たら窓口の改善等も必ず遂げたいものだと語して居る

巡査に抵抗して檢束 元憲兵特務曹長

十五日午後四時半頃黄金町三丁目八九番地相内辰吉(四〇)は知人の宅でしたゝかに酒を呑み泥醉の上ド嚇をも聞かず大聲で街路を怒鳴り制止する巡査に抵抗し傷害を加へんとするので東大門署に檢束された此男は元憲兵特務曹長で從七位勳六等の肩書を持つて居るが酒故に自暴自棄になつてゐるらしい

貨車逆行 連結が斷れて六哩ほど走る

十五日午前八時十分鳥致院驛を通過した大田行貨物列車の連結機の鐵碇が破損した地點で後部の貨車のみ八輛分離して……貨車は小井里驛を去る四十鎖の地點より逆行し全義驛を過ぎるや急勾配に勢ひを得一名の車掌を乘せたまゝ鳥致院驛に向つて猛進して來たが同驛をも通過し美江に至る中間美湖川鐵橋にて漸く停車した、十時半に南北から來る二列車が鳥致院で入避ひとなる十數分前の出來事とて大事に至らず……幸ひに死傷なきを得た(鳥致院)

義烈團の爆烈彈を 工兵隊で試驗

社會の耳目を聳動せしめた義烈團員の所持して居つた爆彈約二十個は十八日午後一時から龍山工兵隊の手で龍山練兵場で爆發せしめて其の效力を試驗することに決定したが該爆彈は最新式のもので時計裝置等もあると

交通の頻繁な所へ 危險防止の標語を揭げる―本町署の計畫

從來の如く府內に頻發する交通事故が昨年頃より茲に現を抜かして女が喚き……府の現狀に鑑み本町署では交通道德の觀念を涵養し事故發生の防遏に努める可く自動車自轉車荷車馬車電車等の輻輳する危險防止の標語を現して交通頻繁な本町入口、黄金町交叉點等に揭示する筈

電氣工夫慘死

十六日午前十時三十分仁川宮町通り電燈會社仁川支店工夫一名は……電柱上で作業中過つて墜落し……遂に即死した

上棟式

龍山鐵道病院新築中の處十六日午後四時より盛大な上棟式を擧行した、總工費五千圓で鐵筋コンクリートを使用し二階附四十坪で屋上の望樓を加へて地上より六十三尺に達すると

胴體を眞二つに切斷 職工の鐵道自殺

十四日午後九時半頃南行貨物列車が京城驛構內……鐵道線路上に差掛る頃一名の鮮人男が線路から飛出し列車目掛けて飛込んだので直に停車し附近を調べた所胴體を眞二つに切られ見るも無殘な最期を遂げて居たので早速此旨を安東署へ急報し……鐵道工場職工木村利雄(二〇)と云ひ正月以來……に離れ常に厭世を漏らして居たと云ふから多分厭世自殺であらうと(安東縣)

下宿で枕探し

府内太平通り二の一九番地下宿屋加藤マス方矢野俊太郎(二)は十六日午前五時頃同宿せる大石松太郎の懐中現金二圓を窃取したこと發覺し本町署の取調べを受けて居るが性來宿屋稼を常習して居たと

面書記の公金拐帶 愛妾に唆されて隨徳寺參り

江原道蔚珍郡遠南面書記崔□植(二□)は大正六年十月頃より遠南面々書記を奉職し戶籍事務を分掌して居た……

兩番査員招待

府警察部では……兩番査員を招待し……

精神病患者の慰安會 動植物園參觀

總督府醫院第八病棟精神科では每年春季患者を動植物園に伴ひ遊樂させしめるが今年は十七日午後二時から患者二十七名を引き連れ水津……化始め職員看護婦附添ひ植物園から動物園を參觀し醫院後病舍前庭で茶菓を配付するさうである

縊死者は醫生

十五日午前十時頃府内……の山中で縊死を遂げた鮮人の身元は……府内……醫生であることが判明した

全鮮中等學校 庭球大會近づく 愈よ十九、二十日の二日間 參加校十五校に達す

高等普通學校庭球大會……

第一日(十九日午後一時より)
善隣商業、第二高普
養正高普、徽文高普
海員養正、藥學校
仁川商業、培材高普

第二日(二十日午前八時より)
第一高普、鐵道學校
京城商業、大田中學
京城工業、木浦商業
釜山商業、不戰一勝

仁川庭球大會 勝屋大前組優勝

仁川體育協會主催庭球大會は十三日……十四日午後四時引續き第二回戰は後より開始したが此の日遂に決勝戰となり勝屋大前組優勝し仁川支局寄贈に係るカツプ並に賞品授與せられ拍手裡に午後七時半分散會した……(仁川)

警官軍善戰す 對遞信庭球戰

十五日午後五時から……遞信局庭球コートに於て……警官軍と遞信軍の對抗試合を擧行し……

栗原氏結婚

……

長野氏弔堂

……

夜の靜物 鮮展三等入賞 伊藤秋畝氏作

喜樂館

果然現る 絶對他の追從を許さざる大映畫 十七日より堂々公開 戀愛無比 純映畫劇 線の牧場 全八卷

考へ物 募集

(八 二 / 小 一) 問題

上圖の角の中の字形を順番に組合せると一番大切の中のものの一字になりま(す)

わかつた方は向ふ十日間内に住所氏名を明記して京城府本町一丁目……

二色萬年筆 懷中時計 金高刻指輪

第八期決算報告 (大正十二年三月三十一日現在) 中村組

(賣地廣告) 旭町一丁目千代本附近表通貳筆と其奥に在る閑靜なる住宅向の土地約八百坪(日本建一家屋付並に空地)を這回其一部分割賣却(?)

電話二四五〇番へ 旭町二 松田

るいれき グリグリ 首筋耳の下胸に出來困る人は 清水寺

りん病 小栗作造

尺八指南 森田仙堂

中性石鹸 イマヅ洗玉

オリザニン 脚氣新藥 三共株式會社

圖解 處女及妻の性的生活 澤田順次郎最新著

煉瓦製造開始 品質優良 價格低廉 工場敷地壹萬貳千坪 年産額參百五拾萬個 工場 東大門外清凉里驛前 營業所 京城南大門前 新井商店 電話本局六五六番

安 深ゴム底地下足袋 安 製 運動靴 八

刻々緊張味を増す 釜山の學議逐鹿戰
本田前府尹陣頭に立つ

【釜山】久しく暗中飛躍を續けて居た釜山學校組合議員選擧戰は最早十餘日を餘すのみとなり漸く白熱化せんとする傾向日に日に濃厚を加へ既に錚々たる名士を擁へて戸別訪問を開始せる者。熱烈なる形勢を決つて前に馬を進むる者等を續出し頗る壯觀味を見せて居るが今日迄に公然名乘を擧げた候補者としての諸氏は

前府尹本田常吉氏（新）吉岡重實（新）田端正平（舊）小阪唯太郎（舊）井上七郎（舊）松本小三郎（新）矢野伊吉（新）山田信吉

で各々選擧本部と立籠り熾烈な競爭戰を續けて居る。此の外釜山鎭から推選する事に決定した安河内千吉氏の背後には杉本太郎氏等の擁立運動があつて既に同方面一帶を風靡してゐると傳へられてゐるが本人自らとしては未だ公然名乘を擧ぐるに至らない。又新町方面では立石良雄氏を公認候補者として親睦會を地盤として雌を爭ふ戰備おさ〳〵怠りないが富平町方面を同じ地盤とせる田端正平氏及び本田常吉の兩氏は前者は多年學界の長老として後者は釜山府尹として最後の一戰であつた電車府營問題の中心人物として府民の信望を一身に荷ひ識見家として最も猛烈なる白兵戰が行はるべく豫測せられてゐるが田端氏と云ひ本田氏と云ひ共に人望を以てする時は共に當選は疑ふ餘地も無い處で特に本田氏の人氣は漸々に高潮に達し正に最高點の獲得者たるべく豫想せられてゐる、尚此外府廳關係監理課長板垣只二氏及釜山中の噂もあるが兩氏共愈々出馬するとならば相方拔くべからざる地盤もある事なれば當選は敢て難事でないが本人としては寧ろ進んで出馬の意志なき模樣にて目下の處旗幟が鮮明でない、其他物色されてゐる候補者も多い、愈戰線に雌を爭ふは十七八日以後となるであらう

南浦學議選擧界 旗色漸く鮮かなり
名乘を揚げて運動開始

【鎭南浦】永らく灰色に隱れて居た學議改選候補者は斥候戰の結果漸く多少の確信を得たるもの〻如く昨今其色を鮮明に旗幟々既に立候補を聲明する者すらあるに至つた、去る十四日まで公然名乘りを揚げて運動を開始したる者に岡島英太郎、田中三八、大浦秋吉、堀貞吉、牧永仁三、青木熊三郎の六氏あり、岡島氏は既記の如く佐賀、大分兩縣人會を地盤とし目下頻りに各官衙を歷訪し猛烈なる運動を試みつ〻あり先んずれば人を制すの諺に洩れず或は豫想外の好成績あるやも知れず、田中氏の運動振りは未だ多く世に知られざるが其の縣人貯金會を唯一の地盤とし其の秘密の如何に依つては天兵を用ひて一大決戰を試むるやも知れず、されど氏は前例に鑑み大體に於て或は非常の苦戰ならんかと觀測されて居る、大浦氏は其背景たる商工會社のみに倚るも優に四十數票かの確定得票あれば氏としては寧ろ何等の苦戰あるなく前途坦々、城中既に凱歌高し突の觀あり、堀氏は選擧界の猛將打破を依然として眞向ふより振翳し徹頭徹尾理想選擧を標榜し門前寸尺の地を踏まず——男子の出所進退は命なり、成敗利鈍豈問ふ所に非ずと宣し奧戰りの宣明書を公にした牧永氏は以前の遊り鮮人町を地盤として居る丈けに稍樂觀し得んも然も今後に於て立候補數の如何に依りては決して樂觀し得可からざる形勢あり青木氏は公人として最も讃頌されたる人材なるも不幸醜聞の爲失敗したるを以て一般の同情は期せずして氏の身邊に聚まりつ〻ある折柄なれば水産組合を背景として勇戰奮闘大に努む可く而して氏は去十三日夜に至り突如として出馬を聲明したる由なれば既に此の間多大の確信あらんと觀測される尚此の外に十四日頃俄かに立候補聲明せるは古川氏にして氏の出馬は今日まで何人も豫想せざりし丈けで其出馬が一般立候補者に如何に影響するかは蓋し之を察知せらる可く從來稅關を自己の勢力範圍とし又は唯一の地盤としたる者は氏の出馬に依つて死命を制せられたると同時である然も其餘波は飛んで他の立候補者に甚大なる打撃を與へずには居らないのであらう而して氏が既に四十餘票の纏まりたるものなれば氏の地盤は正に金城湯池も啻ならないのである此の外未だ立候補を聲明せざるも何れ出馬す可しと觀測されつ〻あるは田淵哲次郎水野立仙伊丹俊平野田良二島井源藏の五氏にして田淵氏は或る有志團の勸誘にてノッピキならぬ羽目に陷りつ〻あれば近く意を決し自己の進退を明かにする由である水野氏は會議所の關係あれば一に其進退は會頭の意嚮に依つて決す可く伊丹氏は目下多少の得票ある由なるも既に一度落選の悲哀を見たれば今次の選擧には頗る慎重の態度を持して居るものゝ如く、野田氏は常に伏兵戰を用ひ奇勝を博するに妙を得つ〻あれば未だ海の物とも山の物ともつかず、然し何れは已むに止まれぬ大和魂から……島井氏は教行を根據として武者振り雄々しく何せん未だ其意思を擧にせず……立川六郎氏は一人一黨主義を標榜して候補に立候補を思ひ止まつたと

元山電燈と府民の要求
熱心なる府協議員の斡旋と 會社側の誠意で圓滿に解決

【元山】元山水電會社の電燈及び電力問題に對し、元山府協議員中の有志數氏が三萬府民の聲を代表して、五項目に亙つて具體的要求案を引つ提げて會社に向つて交渉を開始し去る三月十五日商業會議所樓上に於て同社專務取締役忠太郎氏と第一回會見を試み、大體に於て圓滿解決を告ぐべき曙光を認めつ〻問題を保留され府民は其成り行きを監視すべき必要ある事は既に其當時詳報して置いた通りであるが、爾來兩者の間に幾度の交渉會見を重ねられ、時にあつては兩者意見に若干の扞格あり或は交渉破裂して問題紛糾意外の波瀾を惹起する無きやを氣遣はるゝまでに形勢逆轉せる事もあつたが、府協議員の公正無私にして熱心なる斡旋と、會社側の誠意とは共に相俟つて漸次の接近を見、愈々去る十日最後の會見を試み會社側から

（一）光力の不足に付ては過般本府より技術官出張の節嚴密なる試驗を受けたる結果電燈は十分なるも送電線に若干の不備なる箇所あり之を發見直ちに修理改善に着手し本日完成の筈にして其の上は決して光力不足の非難を受くる恐れは有るまじき事

（二）メートル設置に就ては協議員の要求通り從來の三十燭以上を十燭以上に改正し料金一キロワットに付き二錢値下げする事（但し實施は監督官廳の認可を待ちて）

（三）動力供給に付ては現在にありても既に十分なるも尚ほ本年十一月迄には優秀なる補助發電機を据へ付くる筈にて既に西某會社に註文中で此の据付を終つた曉は多期の渴水期は勿論此の上或る點迄で元山の工業發展して電動力の需要激増しても送電に差支無い事

（四）最も重要なる電燈料値下げ問題に關しては採算上出來得る限りの讓歩の下に五、十燭光は從通りとし、十六燭光以上百燭光迄は五錢乃至五十錢迄の範圍に於いて夫々値下げを實行し（實施は監督官廳の認可を待ちて）、其他軒燈街燈及び臨時點燈料等も夫々若干宛の値下げを斷行し、尚ほ電球代も相當値下げす

べき旨回答し府協議員側に在つても會社側の誠意を諒として同問題に關する解決を告げた。即ち此處に全く圓滿なる解決を告げて三箇月、府協議員が三萬府民の聲を代表して正義の叫を擧げて堂々交渉を開始し、會社側又需要者の便宜を念として誠意を以て應へ他地に見るが如き苛酷なる衝突と忌まはしき結果とを見ずして双方の面目を保持し圓滿の解決を見たのは元山平和の爲め慶

仁川在庫數量

【仁川】五月十二日現在仁川六銀行在庫穀類數量は玄米四斗入二十萬四千七百八十八叺五斗入十萬四十六叺、白米四斗入二千百九十五叺五斗入二百叺七斗入三百十三叺、大豆四斗入七千四百四十八叺五斗入一千八百七十六叺、小豆五斗入七十三叺七斗入五十叺、小麥四斗入六千四百五十三叺五斗入一千三百三十九叺七斗入一百三十五叺、綠豆四斗入百九十五叺五斗入二十三叺六斗入四十叺七斗入二十一叺、大麥五斗入二百六十三叺、粟三千七百六十叺俵入三萬六千七百十五俵、粉米四斗入八千七百八十八叺五斗入百二十三叺、栗七斗入五千六百二十五袋、黍七斗入九百八十袋、高粱四斗入三百九十八叺、糯米四斗入二千五叺五斗入五十七叺、外國白米六斗入一千三百六十三袋

牛莊港の擴張
會議所から建議

【營口】牛莊港區域の擴張は豫て上海より提唱されて居たが今回金澤達氏が會議所會頭に就任するや愈々實現せしむべく運動を開始し發起者を集めて建議書を領事に提出し領事の手を經て北京政府に交渉する筈にて其趣旨は現在の牛莊港と稱する區域は約十三年以前即ち西暦一九一〇年三月改定せられたるものにして西は老爺廟より東は蒋頭迄を港内と規定されて居る。然るに逐年商工業の發達しつゝある當港としては右の區域頗る狹小にして隨つて當港の繁榮を助長する立場にある港外居住者は港内と均霑せざる稅及水先案内等の拘束を受くるが如きは頗る時代に順應せざる現狀に位すると以て特に利便を與へ世界的不況を救濟する意味に於て更に西は河北驛より東は亞細亞タンク迄區域を延長し以て當港を一層發達せしめんとするに在りと。

營口經濟日報創刊一週年　營口經濟日報は十三日を以て創刊一週年に相當するを以て記念事業として精勤店員の表彰營口發展策に關する論文を懸賞を以て募集しつゝあり

清州電燈問題解決
發電機設置と料金引下は不可能 其他は大體の要求を應諾して

【清州】清州の電燈問題に就いては四日夜商議所に實行委員十餘名相集して必ず誠意なき會社に向つての交渉は無効なりとし此の際斷然手段を講じて最後の手段に出づべく準備中であつたが十四日午後大田より會社の重役廣瀨某來清して委員に會見を求めたるを以て商議所に於て會見互に意見の交換を行ひ結局要求事項中發電機を清州に置く件及料金低減の件は態諒せざるも外國に注文中の新設電燈機を八月中に到着次第に据付ける市内に架設の電線を直に取換へ改修する事消燈の場合は一ヶ月通算して料金割引を行ふ事會社出張所の營業振の改善する事其他二三の事項は民の要求を容れ其實行を確約した委員は會社の誠意を認めより以上の追及を爲さざる事とし將來和んで解決ざりし驛案を一先づ解決したので此顛末を市民に報告して市民一般に報告する事となつた

普通校決定難

【大邱】慶尙北道内に於て大正十二年度に新設する公立普通學校の數は約十三校の豫定であるが一般經濟界の不振や米穀價の低落等の爲め決定の困難を來し或は地方に依りては敷地の選定に困難なる事情あり或る面に於ては豫想外の負擔に甘んじても是非共開校したしとの希望を有するものもあり亦地理的の關係より學校敷地の爭奪戰盛んに行はるゝ等の事もあり現に清道普通校の如き僅に三四町歩の距離に關して敷地の爭奪運動で開設休校を敢てするが如き不祥事あるを以て餘程愼重の態度を以て臨まざれば學校の新設は非常に困難を見る事あるべしと某當局者は語れり

釜山の大雨
坪當り一石弱

【釜山】十二日夜から十三日にかけての大降雨は古老の話に徴するも十數年來曾て見ざる處で一坪當り實に一石九斗餘の雨量を示すに至つたこれが爲め例年そろ〳〵減水の時季に入るべき釜山水道は聖地谷水源池が三百五十餘萬石、高還見が四十六萬石と云ふ珍しい滿水を呈して府ではやれ〳〵と安心の胸を撫でゝ此分なら今年の夏は斷水の浮き目も見まいと大喜びの態であるが稀以來斯に雨が多かつた爲め思はずも滿水を見る樣な仕合せにめぐり合つたもので必ずしも夏季に多いとも限られず六七月と次第に暑さが增して行くにつれ給水量もめき〳〵と殖えて行くのは理の當然で然も雨量が之れに伴はなければ蒸發量だけでも中々馬鹿にならず加ふるに府民が濫水を常込んで無暗に浪費する樣な事ともなれば秋から冬にかけての乾燥時期は必ずしも樂觀を許さないので從來多くの年の半分を時間給水の厄に苦しめられて來た苦き經驗に徵して此際能ふ限りの節水を勵行して萬一の場合に備ふる丈けの自覺を全府民に持つて貰ひたいと府當局は語つて居た

旺盛になつた軍隊の運動熱
頗る喜ばしい現象である 大に奬勵する決心である と……百武司令官は語る

【新義州】十四日入港の第二十二驅逐艦隊を率ゐたる百武司令官を訪へば左の如く語る『昨年來兩艦の建造及び朝鮮沿岸の警備に任じ朝鮮沿岸も訪問したいと思つて居たがつい今迄其の機會を得なかつた今回漸く此の機會を得た次第である當艦は主として警備であるから常に非常に忙しく思ふ次第である、當艦隊は取締なぞもあり相當多忙な用務を控へてゐる、今回は鎭海港を經て來たが更に仁川に寄港してそれから歸るのであるが自分の任務は汽車で直接に近く歸任する積りである、艦隊の運動熱の旺盛になつた事は頗る喜ばしい現象である自分としては充分これを奬勵する決心だこれ迄採り來つた事はまつたもの以外に庭球の如き運動は非常に必要である加ふるに海軍は上陸せば必ず遊びに耽るものが多かつたが此の運動奬勵に依り此の種の面白くない傾向が次第に消されて了つたなどは實際難い事である斯うした意味合許りでなく私一個としても此の運動は奬勵したく思つてゐる

凄じい鼻息で元山に オールド、ボーイス庭球團生る
最初の手均しに女學校と試合

【元山】本年度元山運動界は各方面共生氣潑溂として既報の通りであるが、今又突如として『老て益々壯んなる意氣を見よ』と誇るオールド・ボーイス庭球團が生れ出て元山運動界に對し更に一生彩を加ふる事となつた。即ち官衙有志なる運動好きの老將の意氣を示すため東拓支店長佐方文次郎、鮮銀支店長倉富均、郵便局長、殖銀支店長の諸氏の肝煎で出來上つたので其の顧問に推されたのは渡邊三氏の外興味津々たるものがある即ち

石原留吉（元山府尹）吉田順三郎（鮮銀支店次席）武川晃（永興灣要塞司令官）野口耕一（土木局元山出張所長）伊藤眞一（府立病院長）早野和正（滿鐵元山病院長）宮崎又次郎（元山稅關長）佐藤作造（殖銀支店長）源晃一（元山商銀支配人）川澤清太郎（辯護士）岡俊雄（滿鐵元山工場事務所長）鳥居千三郎（元山商銀專務）西田常三郎（元每社長）新井胖（元山支廳判事）西脇豐造（元山中學校長）伊藤祥夫（十八銀行支店長）横田義太郎（元山支廳檢事）

諸氏のお歷々揃ひで中にはラケットを握るのも生れて初めてと云ふ先生もあり定めし驚天動地的の仕合振を見せるであらうと期待されて居る同團に在つては當分の間警察署司令部のコートを練習場として近々盛大な發會式を擧げ猛烈な練習を續けた後先づ手初めとして元山高等女學校に正式仕合を申込み娘子軍を相手に腕を試した上、策戰を定め陣を整へ他の各團體に對し堂々と名乘り掛け將來元山庭球界一方の雄として飛躍せんとの意氣込である

慶山の製紙業

【大邱】慶尙北道勸業課長伊藤正懿氏は十二日慶山郡慈仁面に於ける製紙狀況を視察して歸任したるが同郡の製紙家は百二十戸あり製紙が本業にして農業は殆ど副業的なるかの觀ある程なるが其製紙の方法たる純然たる原始的の工業にて其原料たる楮皮も同地方に生産するものは極めて少く多くは慶州、清道より移入せられつゝあり將來楮の獎勵の爲め當業者の保護を以て何すべきものであるを

元山夏期衛生取締

【元山】元山警察署衛生係に於ては夏期の衛生狀態を顧念される元山に在つては、該收容所の衛生施設を十分ならしむるは勿論、市中の清潔も忽にすべからずと過々防疫上遺憾無きを期しつゝあるが、今の暖氣に依り漸く發生せんとする、蠅、蚊等を驅除する事とし府内を數區に分け日を定めて下水排除、共同便所等其の他不潔な場所へ石油乳劑を撒布する筈

露國飢民活動寫眞と釜山愛婦の奔走
委員は義捐金の募集に戸別訪問 十七、十八の兩日國際館で開催

【釜山】英國兒童救濟會の依囑に依り我社が今回全鮮に渉り同情者を募集するの方法として悽慘悲痛を極めつゝある露國飢民の慘狀を實寫せる活動寫眞大會を催すこととなり十七、十八日の兩日間釜山に於ける大方同情者の義金を募集すべく同地國際館に於て晝夜各二回の映寫をなす事になつたに就ては釜山日報社、我社に於て種々斡旋の勞を執られて居るのみならず釜山府廳に於ても多大なる後援を得つゝあり豫期の同情を集めつゝあるが特に愛國婦人會にては此の目的と合致したる此の慈善的行爲に多大なる贊同を表し此哀れなる露國飢民の爲めに委員たる二十餘名の婦人達は自ら起つて廣く一般の同情者を呼合すべく非常なる意氣込を以て義捐金の募集に戸別訪問を開始した

惡疫流行期に入る
各自御用心

【大邱】大邱市内には去月中より赤痢、發疹チフス等の患者を發生を見つゝあつたが去る九日午前中迄の同病者數は二十名の多數に達したが尚終熄の見込みは立たない、次いで七八日頃から鳳山町に二名の赤痢患者が出で腸チブス患者は府内に散在して九日まで調査したものだけでも二十二名の多數に達して居る相である、是より益々是等惡疫の流行する時候となるから各自に十二分の御用心が肝要である

拂込延期株主協議

【城津】城津電氣會社第四回株金拂込期日は去る五日なりしが目下城津の經濟狀態にては拂込み困難と云ふ理由の下に八十株以下の株主四十餘名連署を以て拂込み延期の請願を提出したが會社としては今回の拂込みは絕對に延期出來ざる理由あるを以て去る七日午後一時より議題せる株主を集め城津道廳に於て協議會を開き種々意見を交換の結果株主に於ても會社の立場を了解し今回は拂込むこととし爾後拂込に對しては成る可く借入金を以て之に充て借入金にて不足を生じたる時は其不足額を拂込む事に協議纏まり午後六時過ぎ散會した

沙里院電燈問題打合

【沙里院】鳳山郡廳庶務主任森林謙太郎氏は沙里院面電燈問題に關する用件を帶び十四日上道々當局と打合せを爲し仁川經由本府に出頭其速成に努むべしと

金組派出所增設

【釜山】釜山金融組合は組合員も最近激增し非常の成績を擧げて居るが西部の發展に伴ひ這回西部（富平町邊）に派出所を設ける事に決定其家屋の選定中であるが該派出所開設の曉は釜山金融組合は銀行の派出所と共に二ケ所となり西部の發展を助けると共に一層の便利を與ふるならん（釜山）

セメント發起人集會

【仁川】東洋セメント會社の工場を仁川龍島に設置する事となり同社は既に着々として創立準備を進めつゝあると云ふが來る十八日午後三時仁川公會堂に於て發起人並に發助員の集會を催す事となり京城より荒井、志岐、小川の諸氏出席會社の計畫其他に就て實際的打合せを爲すべしと

特別評議員任命

【仁川】仁川商業會議所特別評議員任命の件は五月一日付を以て銀行關係の永野清氏の後任として釜山商業太田氏任命された（仁川）

鳳山郡面長會議

【沙里院】鳳山郡廳では十五日郡廳內に面長を招集し諸般の事項に關する會議をなし午後四時から郊外の山浦で懇親會を催した（沙里院）

大邱乘馬會遠乘

【大邱】大邱乘馬俱樂部の主催にかゝる慶山遠乘會は憲兵隊、騎兵隊、警察等を加へて三十六騎十三日午前九時大邱驛前に集合一路狹風を突いて慶山邑內に到り同日午後四時頃一同無事落馬者もなく歸邱したり（大邱）

新義州の射擊會

廿七日海軍記念日に新義州署は在鄕軍人分會合同で守備隊射擊場に於て大射擊會を催す筈（新義州）

內地視察團出發

【慶南】慶尙南道各郡より一名宛を選拔せる內地農村視察團一行十七名は慶南石本地方課長、道屬二名に引率され十五日朝來釜午後一時釜山府廳に集合日程及び內地視察中の注意事項等の訓示あり市內見物の上十五日夜連絡船に便乘內地に向つた（釜山）

釜山社友會慰安會

【釜山】滿鐵社友會草梁支部では十五、六兩日午後六時から驛前國際館に於て社員及び家族慰安會を開催し桃中軒入道一行の浪花節其他餘興數番非常の盛會を極めた

空地があると知らぬ間に家が建つ
鮮人細民の惡い習慣 土地所有者は鐵條網でも張れ

【釜山】釜山地方に於ける鮮人の習慣として從來市街地內に空地がある場合之が利用については何等所有者其他管理者の承諾を得ずして何時とはなしに該地域內に家屋にも等しい假小屋を設け相當の期間を經過するも所有者に於て故障なき場合は無斷にて永久的の建物を新築するの風習があつて現に今回釜山警察署に於て調査せる所に依れば五ケ所餘りの間に十五六戸の住宅を建てしたるが如き例もある斯くの如き不法行爲は當然法規の示す處により相當處罰の途もあるが從來からの慣習でもあり且つ直に途方に迷ふべき細民の事とて其處置につきては頗る困難とされて居る以て一は斯くの如き惡習の矯正を爲め之が防止策を講ずるの必要あるを以て今回釜山警察署に於ては各官公衙其他土地所有者に對し空地には鐵條網其他地域內に侵入し得ざる相當の施設を爲さしめ彼等をして此の惡弊を慣用せしむるの餘地なからしむる事に努むべく此旨十四日夫々各方面に通知する處があつた

傳書鳩 ◎徂春の空を 一直線に平壤へ
南浦の支局から平壤の支局へ 通信を齎らして……

【鎭南浦】若葉薫る佳き去る十四日の午後一時鎭南浦第二公立普通學校々庭に於て陸軍傳書鳩の鎭南浦分所から平壤傳書鳩分所が來た可愛らしい十羽の鳩を我子も同様に抱へながら太田曹長と一名の一等卒が來た、太田曹長は數百の觀衆や學生に對して左の通り一場の説明を試みた『此の可愛らしい鳩は西伯利出兵に從軍して大に偉勳を樹て名譽の凱旋をした鳩の三代の孫で朝鮮で生れたものであります、彼等は總て歸巢能力に富んで居て十羽の內非常な邪魔が起らない限り必ず十羽とも健在で歸還する、途中で不幸にも鷹や鷲に襲はれると或は方角を誤つて豫定時間通りには歸還せんこともあるが晴天の時に多少の雨風にもそれ程の心配はないのである彼等は必ず無事に歸る殊に彼等が夜間でも其任務を果す所を見ると他の鳥類に比して大いに優つて居る、目下學者の說に依ると彼等は人類の五感以外に更に一感覺を多く有して居るさうであります、鳩の飛翔力は一分間に一千米あつて四分間に一里を飛破し鎭南浦と平壤間は僅に四十七分間しか要せない今では軍隊用よりも寧ろ民間の新聞社や通信なんかに盛んに用ひられて居る』

説明が一通り終ると豫定の放鳥期たる一時半が來た之れより先本社支局より平壤支局に宛たる通信をアルミニューム製通信器に詰たるものを小さい二羽の鳩の脚に縛られ十羽は一齊に放たれた、喜々として徂春の碧空を見極めたかと思ふと方向を轉換して鎭南浦の空を回旋し愈方向を定めたりと見え午後一時四十五分位に全く影を晦まして平壤街路に沿ひ遙かに姿を消し、同日午後二時卅分には何なく一同歸營したとの通知があつた

共生會講演會

釜山大廳町知識等では十五日午後八時から京城の共生會代表者西崎博吉氏の來釜を機として慨會を開き講演會を催し共生會の標語であること共存の人生に立ちて永遠の生命を完成するにありと云ふを主張し大田秀山氏の人の職利、西崎博吉氏の人格の經路と題し長時間に亙つての講演、國民體操實代作業等一般來聽者多數盛會であつた（釜山）

武術會出席者

【大邱】慶尙北道警察部管內より來る二十日京城に於て開會する武道大會に出席するものは左の通りなるが何れも十八日午後の特急列車にて出發すべし（大邱）

劍道の部五段秋野憲治、四段泊嘉造、三段加藤長吉郎、二段實松繁雄、同南川雄人、同荒井爲之助、初段森五人外五名柔道の部四段金丸伊三郎、初段谷村道之助外四名

中村郵便局長榮轉

【鎭南浦】鎭南浦郵便局長として官民間に名聲嘖々たりし中村三之助氏は今回新義州郵便局長に榮轉二十一日頃出發任地に就く豫定なるが氏は溫厚玉の如き人格者にして識見高く常に官民間の梯子として社交界に重きを效せるの人、今にして氏を鎭南浦より失ふは悲れ惜ふ能はざる一大損失なりと一般に惜まれつゝあり、而して氏の後任には京城鐵道局長たりし吉住融氏近く赴任す可し

地方集會

▲生田道知事招宴（新義州）十四日入港した第二十二驅逐艦隊百武司令官高木司令以下幹部十一名を生田平北道知事は十四日夜第二艦新館に招待し酒宴を張つたが生田氏出府中とて磯野內務部長主人となり安藤警察部長池田財務部長及び神宮新義州發表陪席一同十二分の快を盡し和氣藹々裡に散會した

▲渡日本視察團觀親會（元山）元山府廳、商業會議所、朝郵元山支店、元山每日新聞社等主催の下に組織された渡日本視察團一行も、幸に無事豫定の視察を終へ其の團員も九日頃迄でに夫々歸元したので往路非常に厄介になつた朝郵立神丸が十四日入港したのを機會に謝禮を兼ねお互の無事歸元を祝する意味に於いて、同夜料理店春支店長を主賓として丸芳に招待し盛大な懇親會を開いたが、『宮島節』や『國の五本松』だと山陰道に因んだ餘興やら各自の珍藝奇行の爆破きやらで興趣湧くが如く十二分の歡を盡して十時過ぎ散會した

▲百武中將招宴（新義州）鎭海要港司令官百武中將は第二十二驅逐艦隊主力艦等四隻を引率して新義州港に入港したのを機として十五日午後三時から府內の官民有力者六十餘名を磯艦に招待し茶話會を催した、席上司令官は昨年末赴任し朝鮮の面に當つてゐたが未だ一度も諸氏と會見し得ざりしが今回親しく談合し得る機會を得しは洵に喜しい事であると一場の挨拶をなしたるに對し磯野內務部長は鄭重なる謝辭を述べサンドウイッチにおでん、鮨しと云ふ簡單な水兵の手料理に一同は舌鼓を打つて海軍々人の健康を祝して散會した

▲山下氏送別圍碁會（清州）忠北道內務部長山下謙一氏は圍碁に堪能で初段の腕を擁すほどであつたが今度其轉任を惜み清州の同好者は十五日午後四時より送別圍碁會を寂樂に催ほし三十名の出席ありて頗る盛會を極めた

地方人事

▲金雨英氏（安東縣副領事）第廿二驅逐艦隊歡迎の爲め十五日來新同夜歸任（新義州）

▲加藤鉄次郎氏（新義州銀行頭取）內地から十五日夜歸新（新義州）

▲記者大會一行 二百名は十六日夜當驛通過で北行（新義州）

▲百武海軍中將（鎭海要港司令官）第廿二驅逐艦隊引率し當港に入港諸官廳訪問挨拶の上十六日朝發汽車で南行見送り多數（新義州）

▲磯野平北內務部長 第廿二驅逐艦歡迎の爲め十四日來新十五日夜當驛通過の記者大會員一行に挨拶の上十六日歸任（新義州）

▲安藤平北道警察部長（同上）

ウイアデル侯爵總裁の 英國兒童救濟會囑託

露國窮民救濟活動寫眞大會

五月拾七、八日（晝一回 夜一回　午後七時　學生 一般寄附者）　於 國際館

本社活動寫眞班撮影、全國新聞記者大會一行の動靜

番外

寄附者氏名は本紙に發表して領收證に代ふ

主催 京城日報社釜山支局

誰れにも出來る 一萬圓貯金法
衆議院議員 高柳淳之助

金は欲しいが容易に出來ぬものだと決めて仕舞つてゐる人が多い。これは間違つた話である。今茲に誰にも出來る一萬圓貯金法がある。それが頗る確實な方法で、諸君自ら郵便局に貯金をなし、少し纏まつたら之を最も確實な方法で利殖すればよいのである。

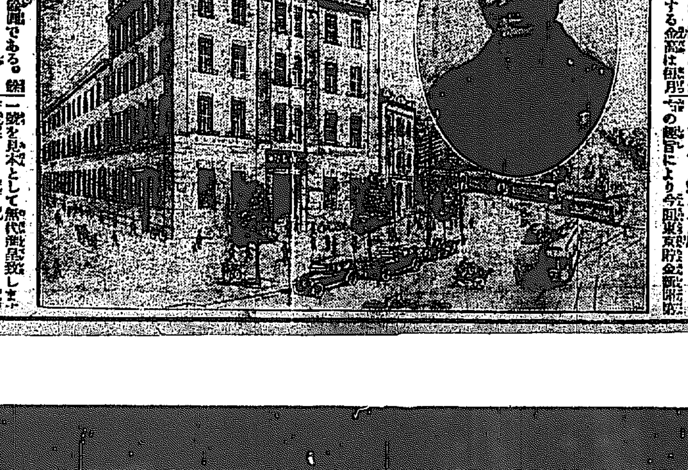
▼利益八千圓
然らば諸君は毎月何程の郵便貯金を爲すべきか、又何圓出來たら如何なる方法で之を利殖すべきかが問題である。これは私の發行する東京貯金新聞を見れば詳しく分るのであるが要點だけ申せば貯金する金高は毎月僅か十五圓で、利殖が八千餘圓である。然もこれは頗る確實な方法である。

▼社會奉仕
それから私は幾分でも社會公益の爲にもと考へまして、先づ郷里の小學校に一萬圓を寄附せしを初めとして各種の寄捨を致した處、昨年五月勅定の紺綬褒章を授けられ又有志諸君の御協力により衆議院議員にも當選するといふ名譽を得ました。然し私の得意は政治よりも貯金です。今まで苦心した經驗により誰にも出來る一萬圓貯金法を立案し社會奉仕の爲め廣くこれを世に實施する次第であります。

▼一錢五厘
の郵便で今回東京貯金新聞第一號を見本として無代進呈致します。遠慮なく一錢五厘のハガキで御申込下さい。早速御送り致します。御覽下さいまして、私の說く所が何卒確實なもので且つ誰にも出來るものだと云ふ事がお分りになつたら是非其讀者になつて下さい。そして獎勵金の抽籤にも當つて下さい。私は只管其れを祈ります。後では忘れて仕舞ひます、今直ぐハガキを書いて御出し下さい。

▼貯金新聞
これは私が貯金獎勵の爲めに發行する新聞であつて、此の一萬圓貯金法を詳說し且つ獎勵金六千圓を提供し（内三千圓は既に贈呈濟）何人でも據約五圓宛郵便局へ貯金を實行する人々に分配贈呈するのである。此六千圓の出所は、私が代議士として受くる歲費であつて、今度之を貯金獎勵の爲め提供した次第である。それで貯金新聞は一枚三錢、一年分僅に四十二錢、儲けるためでないから實價が安いのである。

▼私が經歷
私は何を隱しませう、茨城縣の片田舍の貧しい百姓の子です。十七歳から八年間郵便局で小使や配達夫をなし、廿四歲の時に無一文で上京してから苦心慘憺種々の職業に從事し僅かな貯金を利殖して今日迄に一百萬圓の財産を築き上げました。其の間先輩からの援助を受けたでもなく又一度に何萬圓と云ふ大金を一擧して儲けた譯でもありません、要するに皆な之れ貯金の賜である。して見れば一萬圓位の貯金は誰れにも出來ぬ筈はありますまい。



特別廣告
東京市麴町區有樂町一ノ三 貯金新聞社 電話丸ノ內二三三三番 振替東京二八〇三番

十五圓で金もうけ

●金儲けの第一は藥の取次販賣に限る●資本は二十五圓の注文書で資本がなくても出來る●官吏會社員學生婦人の內職にもよし●藥劑師でなくとも差支なし●十五圓で十八圓卅五錢ならば小賣八、三千二百餘戸の特約店あり成功が出來るのは有名製藥の販賣權が出來るからです●特約店は一町村一名に限る●至急ハガキにて申込あれ●規則書進呈

東京牛込區若宮町六〇 資本金五十萬圓 日本製藥株式會社

婦人と子供

婦人講座

健全なる兒童
先づ母體に保護を加へよ（中）
悲慘なる里子貰子の運命

協調會囑託　鈴木誠治

夫には授乳の設備が必要である、又姙娠の休養又は品物等を安價に頒へること、姙産婦の診療所、相談所の設置を計ることなども必要である又託兒所、相談所の出來ない間は姙産婦の講習會を二三日位づゝ巡廻開始する必要があらう、而して二三町村合併で無料若くは低廉なる産婆の提供をなすことなども好い事であらう。現在の日本の如きは全數三萬の産婆しか居ない、これではどうしても死兒、乳兒の死亡率の低下を防ぐことは至難と云はなければならない、且つ又從來は幼兒の責任は母親のみに負はされて居た樣であつたが今後は父母共に幼兒に對して責任と義務を分擔し、たとへば飲酒家の父なる者は必して禁酒又は節酒しなければならない。あらゆる方面から實驗的に考察した結果に依るとどうしても飲酒家の幼兒は禁酒家の幼兒よりも成績が良くない結果にある。心理學上よりする議論は暫く問はず、ここでは假りに嬰兒を過ぎて學齡までの間を幼兒と考へて、一般に幼兒期に於ける保護は母乳を授けると云ふことから始めなければならない、婦人の體力が弱るとか又は缺乏な者へから母乳を授けることを强ゆるが如きは悲しむべき現象である。フランスでは子供を田舍で育てるのが自然だなどと理窟をつけて生れるとすぐ里子にやつて自分は社交に遊び廻れてゐるなどの極端な例さへ見られるが如き心得も甚だしきものである。日本でもかかる風潮が漸次流行する樣では甚だ心外であるから、もつと育兒教育を進めなければならないであらう。農村などでは農繁期などに限つて臨時託兒所を開くなどのことは適當の事であらう。外國などでは立派に相當の設備が出來て居る。日本では育兒所所謂里子貰ひ子に對してはこれに對する適當な處置がない、里子貰ひ子はすべて報酬に依つてこれが行はれるのであるが、其金錢を除いて全國に二萬人のこの種の幼兒がある（續）

ささの舟
櫻井小學校尋五　根岸勝三郎

ささがなみにゆられて
ゆーらゆら
岸のたんぽぽ
泣いていた
流れる舟みて
ないていた
ささのお舟は
ゆーらゆら

赤い椿
須田行正

背い
お庭に
みせが出た
赤い椿の
みせが出た

ぶだう
池尻省一

ぶだうの子坊主が
きんかん頭ひつつけて
何か相談してゐた

與志美會の箏曲舞踊

優美で高尚な舞踊
箏曲に合せて舞ふ新い試み

箏曲に舞踊を加へた新しい試みを先日公開して多大の好評を博した與志美會の主宰者太田與志子女史を訪へばいと淑やかに語る

私は幼い頃から箏に親しんだもので御座います、それも私の家庭が自然にそう云ふ風に出來て居たからでせう、伯母も母も姉達も皆一通り箏を彈いて居ましたから私も早くから手を習れる機會が作られた譯で御座います、一體箏曲は家庭音樂で靜かなジミな所が特長で御座います、近來は洋樂が非常に盛になつて參りましたが箏曲と洋曲とは全然其趣きを異にして居ます、昔から吾國の箏は聽く人をして眠らしむるのがお上手だと云はれて居りますが洋曲は興奮させるのが目的で御座います。精神を沈靜せしむる音樂と興奮せしむる音樂とは根本から違つて居ると思ひます、こゝが即ち國民性とか國民趣味とかが異る所以で御座いませう、又舞踊に致しましても長唄とか端唄などのは大部賑やかではありますが幾らか野卑な點があると批評されて居ります、併しながら地唄に付ける舞踊は殊に優美で高尚なもので御座います、之れは古來あつたものださうですが殆ど中絶の姿となつて居ましたのを復興させて日本的趣味の向上と優美なる體のこなしとを計り度いと思ひ今回與志美會を組織して同好の皆樣と提携し斯道の研究を致さうと云ふ計畫なので御座います。

どちらが親か　演藝興業で奇妙な夫婦や奇體な企てが續々として表はれるが最近は米國オーションパークにあらはれた畸形的な親子で、小さい方が母親、大きい男はその産みの子である

安價で旨い豚料理

滋養に富んだ豚のお料理の數々の中からお話をいたします

◆先づ三人前の獻立をいたしましてゴボー五十匁、ラード十匁、ブタ七十匁、豆腐四十匁、ニンジン三十匁、砂糖、鹽、醬油などの御用意を願ひます

◆調理法はゴボーとニンジンは皮をこさげ細かにまはし切りとしておく

◆豆腐は水を斷つて細かに碎きブタは手頃に切つて煮立てたラードに豆腐野菜と共に入れよくいためしたひた/\の水を加へ暫らく煮て野菜が充分軟かになつた頃適宜の砂糖と少量の鹽及醬油にて充分味つけて供す

◆充分味つけしたるものは汁氣のからくになるくらゐに煮るとよいと思ひます

◆更に豚は比較的安價で旨く召上られます

描かれたる花
有島武郎氏の話

今は亡い小山想雨の記念講話に夜の神戸YMCA講堂で述べた有島武郎氏の話を左に綴つて見る。演題は「描かれたる花」と云ふ去る四日の夜の事である

肥えた血色のいゝ穩やかな紳士上體を少しテーブルに凭らせて、要點をかいた小さな紙片を時々見ながらはつきりした口調で、時々輕いユーモアを交へて述べた。それは、その夜の有島氏の印象である（大阪支局蝶郎生）

私はある友人を通じて一人の青年を知つた。その青年は、活動寫眞のフィルムに自然色を表はすことを發明したと云つて居たが、もちろんそれは嘘であつた。然しその青年の云つた言葉に『繪の具の色は自然の色より美しい』と云ふ一句があつた。この言葉は、私に深く思索すべき問題のヒントを與へたのである。此言葉を理解する爲には、自然と藝術家の眼との關係から考へるとよく判る。凡そ自然はそれを看る人にとつて唯一のものだ。例へば私が今日午後三時に見た天の樣な一部分は、他に絶對にないこの唯一なる自然の一部分は、

（一）その範圍を限られてゐると同時に、その限られた部分だけが誇張されてゐる。

（二）色彩の色調（例へば濃緑から淡緑へ移る途中の色）の中から少部分のみを採つてある（即ち色を略して自然を誇張してゐる）

（三）限られたる自然の中の、尤も印象深い點だけを、はつきり表現し、之に依つてその自然を誇張してゐる。

かくて美術家は、無意識に萬有を誇張して看、且つ再現してゐるのだ。云ひ換へれば藝術家は（こゝでは畫家）繪の具の色を通じて自然その實體よりも美しく看てゐる。然し時あつてかこの誇張する心から解放されて自然を科學者の眼で批判的に觀ることもある。

◇

無限に誇張せんとする心は、やがて又神への憧憬となり、冷やかに批判せんとする心は地上に卧し地下に[illegible]る惡魔の爲にとらはれともなる是は藝術化された前者はドンキホーテとなり、後者はハムレットとなつた。私はこの双方に對して感激し得る。そして一方（神）から他方（惡魔）への推移のさまをファウストに見るのである。古代の宗教は專ら神に向はんとする誇張性を無限に發展させて、神を人間から遠く離れた所に造つたものであるが、近代人は神を己の心に引入れ、惡魔を地下から喚起して心に入れてゐるのであつて、近代人の藝術とは即ち神と惡魔とが人間の心に合一することである。そして神とならんとする心は藝術家にあつては藝術的ショックとなり、惡魔に親しまんとする心は批評の精神となつてあらはれる。更に之を人間の歴史に見るに、誇張性なき者は代々泳ぐことのみで滿足してゐる間に、人間は絶えず誇張性を働かせて遂に飛行機を造る迄に至つた

◇

私たちは經濟的に進歩せる生活をしてゐるのに、道德又は宗教は過去の時代に生れたまゝのものに依つて支配されてゐる事が多い。そして此相容れざる二つの勢力は、絶えず私たちの心の惱みとなつてゐる。結局、この二つの要素が合致せば、よき生命を作り、分離すれば惡魔を生ずるに至るであらう。（完）

春は逝く
獨身の悲哀をのせて（四）
竹三作

覺めきらぬ眼をこすりながら飯を炊くことは每朝の例である、雨の降る時は靴下を乾かす時間を此處で利用する、然しその靴の破れを如何にせんやである。戸外では靜かに霧雨が降つてゐる、僕の身體の中を何か物足らぬ孤獨さが流れて行く。

▲に飽た樣なやるせなさがある。靜かに考へると、何時も何[illegible]はこんなに[illegible]命に奮戰して一際を犧牲にして居るがこれが將來如何なる幸福を與へるであらうか。『はて——變な臭ひがするぞ』。何のことは無い飯は黑こげだ、又今朝も朝飯を拔きにして役所で變な疑ひの眼を向けられながらパンでも食むかなあ。朝飯を貪る時間をもつと有効に使ふ方法は無いかなあ此處等が要點の好機かも知れぬ。おゝ春は逝く、春は逝く、僕は理解と愛とを體驗してその女性を得たい。然し僕に春はもう過ぎた。俺の面は既にガンモドキの樣に荒れてゐる、又女性!!何と[illegible]な響きだらう、此の部屋に脂粉の香が充ちた時」お、俺は果して正氣で居れるだらうか、ああ神樣私は何うすればよいのでせうか。」——然し彼は春が過ぎ夏が來ても未だ同じ二階に獨りだつた——。

家族慰安會

鐵路署では十八日朝鮮鐵道で家族慰安會を催し活動寫眞及び鐵道部囑託月女史の分娩及び育兒に關する講話ある由

家庭覺帳

◇毛物に泥が附いた時　袴の裾に泥をはねたらよく乾てから、鐵瓶の蓋のギザ/\で掃除け、毛の固いブラツシで、突くやうにしながら布目の中の泥を出來るだけ取る。それだけでは未だ跡が見えて居るから、脫脂綿にアルコールを附けて拭く、すつかり取れたら火熨斗で縮んだ所をのばすのである。

◇牛乳の防腐法　これから先は牛乳がよく腐る。それを防ぐには牛乳を沸かす時に重炭酸曹達か鹽を極少し入れると好い振うして置くと永い間腐らない。

公設市場小賣値（十六日）

品名	數量	金額
胡麻煎餅	百匁	二六〇
海苔煎餅	百枚	二六〇
雞子煎餅	同	二八〇
福神豆	同	三四〇
[illegible]煎餅	同	三六〇
金時納豆	同	三六〇
蓬萊豆	同	二四〇
小櫻餅	一箱	一、四〇〇
萬歲豆	同	二八〇
落燒	百匁	三八〇

走馬燈

熊本縣菊池郡に、馬を非常に愛する少女がゐて、馬が病氣の時などは、血を分けた兄弟姉妹のやうに寢食を忘れて看護してゐたが、遂に全村の娘達を感化し、今度婦人愛馬會が出來た

◇東京電氣局の齋藤理事が『けばけばしい身裝をした女に限つて、お産をする時に大聲で泣く』と、悟つたやうな事を云ひ出した

◇鹿兒島縣に、四本足の雞が生れた、コーチンの種類で、肛門も二つある。四本足の中で、つかひゝ方の二本で歩いて、元氣に育つて居るさうである。

汗愛

投稿歡迎

修養團各支部及び團員の活動狀況、各自の意見並に修養團に關する逸話等▲一行十五字詰五十行以內を標準とす▲封筒には住所又は支部名と氏名明記のこと▲送稿は本社吉井柳洲宛の事

市民總立早起會（上）
光州支部　原生

▲昨年八月二十七日開始以來、降つても照つても暑くても寒くても、一日も欠りなく每朝ヨイサ/\の掛け聲勇ましく實行して來た吾が國民體操は牢乎たる根抵が出來た市中一般にも大に諒解徹底されるに至つたのであるが、餘り團結が堅くなつたので外部から一寸飛び込みにくいと云ふ傾もあり、又加盟したくとも一寸機會が……と云ふ向もあつたので此國民體操を大に一般化したいと種々考慮して居る矢先に東京の本部から國民總立早起會の命令が一下したのである。

▲此頃の朝の氣持は何とも譬へ樣のない淸々しさである。黎明！拂曉！何と崇嚴な神秘的なことよ！此の靈氣を修養團で每朝く獨占するのは餘りに贅澤過ぎる何とかして市民一般に頒ちたいと趣意書や宣傳ビラの配付ポスターの貼出しに依つて周知を圖つた、

▲團員は午前四時起床、振鈴と共に團旗、提灯を高く翳して市中を起して廻る。光州神社の太鼓はドン/\/\と神々しい所謂太古の響が市中に響き渡る、いよ/\以て堪らない、老幼男女吾も/\と起き出で定刻の五時には既に四百五十名と云ふ數に達し是等の人が龜ケ岡公園の光州神社境內に參集した

▲先づ光州神社に參拜し大神宮に向つて最敬禮をなし一同『オハヨー』と挨拶を交はし、小浦幹事の指揮に依つて國民體操を行つた、四百餘の勇士の元氣は正に充滿して來た、天を衝くの意氣、地球を蹴すの元氣な運動、其の有樣は勇壯とも活潑とも又崇嚴とも實に譬へ樣のない樣であつた。

虚弱者を剛健化す
ブルトーゼ
説明書進呈
◎帝國大學病院　赤十字社病院　各府縣立病院　御採用
醫學博士 栗本東明氏　醫學博士 齋藤秀雄氏　醫學博士 土田卯三郎氏　醫學博士 滑山正信氏　醫學博士 河西健次氏　醫學博士 諏訪登一氏　實驗御推奬
正しき補血强壯增進劑
◎全國各地藥店にて販賣す
補血强壯增進劑 無味 ブルトーゼ（小瓶半月分 大瓶一月分）金二圓 金三圓
神經質疾患特効劑 アルゼンブルトーゼ（小瓶半月分 大瓶一月分）金二圓三十錢 金三圓五十錢
腺病質特効劑 ヨードブルトーゼ（小瓶半月分 大瓶一月分）金二圓三十錢 金三圓五十錢
健胃補血强壯劑 キナブルトーゼ（小瓶半月分 大瓶一月分）金二圓三十錢 金三圓五十錢
呼吸器系疾患特効劑 グヤコールブルトーゼ（小瓶半月分 大瓶一月分）金三圓五十錢 金五圓五十錢
發賣元　藤澤友吉商店　藤澤友吉京城支店
代理店　高井商店

赤玉ポートワイン
美味としての葡萄酒！葡萄酒としての赤玉！　その香味のすぐれたる！　類を他に試むるまでもなし
滋養としての葡萄酒！葡萄酒としての赤玉！　その藥效の著き！　比を酒に求めがたし

日本で嚆矢とする　植物性　純化粧用
金鶴石鹼
初夏の頃
青葉若葉の蔭をひたした、浴槽に親しむ此頃……
まづお肌の麗しいツヤと、しんなりしたビロードのやうな肌の爽快なる氣分を本品によつて、感受して下さい！……
都の花石鹼　本舗　野村外吉商店

330

朝鮮私鐵の使命

京南鐵道常務 秋本茂氏談

總督府當局の盡力に因り私鐵六社の合同成立に至りたるは洵に慶賀に堪へざる所であるが是れによりて直に多額の資金を容易に得べしとの意見が有力者より發表せられ居るも然う簡單なるものであらうか、創立以來十年たりしもの無きを以て見れば事業の成立の當初より合同の實效を以て株主の面目に資行し利益の增進を計り若くを敢てならしめんには

借款に拂込に、相當資金を得らるべく懲ぜざる能はず、然れども私鐵融の言ふが如く每年一千萬圓の社債を應行し年百萬圓の增長工事を完成せしむべしなど果して可能であらうか、私鐵十社の內全北を除き合同六社の拂込社債借入金二千六百四十萬圓未合同三社（金剛山、圖們、京南）拂込借入金一千四百二十萬圓合計四千六十萬圓にして是に對し僅りに平均六朱の補給を受くるとせば約二百四十萬圓を要し今や議會を通過したる年額三百萬圓を以てして約六十萬圓を餘すのみ、遂年補助額を改正し補給金の增額を爲し得ざる限り斯の如きは以て空論と評する外は無い、而して私鐵が無配當の間に參加せざる理由としては株主の努力等を列擧するものに非ず、投資の缺乏、既設工事の少額及從業の缺乏なるは發起者の定見にして其他の事項に關しては遂し當然の事と言ふのみ唯茲に

閑却し得ざる

事は政府當局が補助法改正案上程の議會に於て不幸解散せられたる如く朝鮮私設鐵道工程の進捗せざるは財界不況のため株式の拂込至難なるに原因すと云ふ洵に然る處にして各私設鐵道が成立せる大正九年二、三月頃より財界は急轉直下今日に於ても引續き不況を持續せるは何人も首肯する所である其の不況時代に該社は會社成立後僅々二ヶ年間に三回の拂込を決行し株主も能く會社の使命を諒解して是に應じ從つて該社の現況は他社に比し著しく事業の進捗を見たる次第にして當時拂込決行に對して株主の心理を考察せんか朝鮮開發の原動力たる鐵道敷設の大使命を切に諒解したるものに非ざれば是に應じ以て不肖等の會社創立の趣旨に副ひ得はなかつたであらう要するに當事者をして安んじて豫定の進捗を爲さしめて可及的補助額を少額ならしめ投資の增加を計ると共に經費を節約して其の進捗を計り鐵道に對しんでは自營の途を講じ以て朝鮮開發の使命に努力せんと欲する以外他意が無いのである然し社は既に昨年六月中天安、禮山間二十哩の工事中にして是が本年九月乃至十月中には竣工開始を爲し得べく猶進んで天安、安城間或は禮川、大川間の工事に着手の豫定にて經濟調査及實地測量に從事しつゝありて今秋に起工し大正十三年五、六月頃には竣工せしむべき計畫である而して爾餘の未成線に對しても萬難を排し既定の方針に基づき着手の豫定なるが是れ獨り不肖等の希望なるのみならず株主多數も同一意見を有するものなるべしと思料せらる是れ要するに國家を利し自個を利する最善の方法と信ずるのである

水利投資 新移民招來

今回中央政府より朝鮮水利事業として總額三百萬圓を供給される事になつたが利率は五分五厘である、然し殖銀から農家の手に入るものは殖銀の手數料もあるので幾分は高くならう。此內不二興業で使用するものは百二十萬圓であるが同社は大正十三年には四十萬圓、十四年度には更に四十萬圓と計二百萬圓の融通を受くる事になつてゐる第一期の移民計畫に成功すれば更に必要の資金を融通して貰ふだけの了解は得て來た 東拓の外債中朝鮮に來るものは一千萬圓內外であるが利率の關係上水利事業には適らぬであらうと思はれる。內地移民は既に東拓で行なつて居るに何故本社でやるかと云ふと東拓の移民は鮮人の間に雜居して不體裁な住宅に居る者が多いやうだが本社の移民は一戸に就き千五百圓位の住宅を立て充分投資等の體面を保持させ土地の價も始めは金の入らぬようにし二十六年間に容易に償却の出來るようにしてある今後之と同樣の移民部落を各所に設置するつもりであるが本社は今迄の各種の事業に千五百七十萬圓を投して居るが悉く豫期の成績を擧げて居る（藤井不二興業社長談）

東拓三菱 滿洲投資計畫

【東京電報】滿洲方面の水利は年々擴張され漸次好成績を擧げてゐるが最近東洋拓殖及三菱の兩會社では更に投資の計畫を樹て目下各方面に涉つて調査中である

金剛山電鐵總會

【東京電報】金剛山電氣鐵道會社は

大阪財界近信

日貨排斥の邦商に及せる影響

上海日本人商業會議所より大阪商業會議所に達せる日貨排斥に關する報告の大要左の如し

綿絲布 三月三十日より覺醒せる國民對日經濟絶交團體なるものを組織し當地排日團體會を開き日貨排斥をなす事を決議せるが其の聲明は不實用關係を見越して却て大に買進めり

石鹸製造 五月一日國貨維持會（籠頭）を始め瑞祥洋行取引先を軽別に不穩の勸誘をなし日本品を取扱ふものは懲罰を加へ衛威を掲げつゝあり

船舶業 大阪商船の大新丸は四日上海發六日天津入港の豫定なりしが天津綿絲布商、砂糖商、麥粉商組合等より積込見合せ方を通知し來るため全然船荷を失ひ止むを得ず漢口方面より綿絲一千二百噸を積荷して出發するの止むなきに至れり

交通業 仁成公司にては四月中入日本郵船行の貨物十九噸の輸送を依頼せるに船積貨物不足を口實に之れを拒絶し其の後月末三十一日に至り日本人の貨物は一切輸送を取扱はずと拒否の通知を爲し來れり

雜貨商 五月一日以後洋行の店頭に陳列の品物を撤去せるもの多數を數へ支那人店員は落ち付かず

輸出商 輸出商も約定を解約せらるゝ者の續々たるため非常に多の損失を蒙れり

不渡手形激減

五月上半期に於ける京城手形交換所の不渡手形は枚數三十三枚金額五千百九十圓六十八錢にして前月同期に比し枚數に於て六十八枚金額に於て一萬三千三百十圓十八錢の大減少を示したり

鮮銀券發行週報

五月六日より同十三日に至る朝鮮銀行券發行週報に依れば總發行高は八千七百十二萬四千七百六十七圓にして前週に比し一千百四圓を增加し發行高三千四百萬二千二百十三萬三千六百六十三圓外發行高二百十八萬七千九十五圓にして週末發行高は八千六百三十四萬五千二百十七圓である

實銀新館公開

朝鮮實業銀行にては二十七日南大門通り新館に移轉二十八日より開業の豫定なるが右に付十、廿一日午前九時より午後六時まで新館內部を觀覽せしむべく關係方面約一萬人に案內狀を發せりと

商品市況

綿絲布（小締り）銀塊米綿共材料高に依りて三品市場堅調を呈し當地在荷薄にて不變ながらも相場稍々小締れる態にある本日相場左の如し

粗布三エー二百六十五圓九龍二百六十圓大エー二百五十五圓金剛山二百三十六圓金閣二百二十二圓燈籠二百十二圓白頭山百八十二圓細布飛犬（十三手）十三圓七十錢樂島十二圓六十五錢晒金巾進軍十三圓六十錢金鵬十三圓四十錢綿絲眞面（十六手）二百三十八圓女二百十八圓晒木棉竹一圓八錢

削花鰹（保合）新節の北々市場に出廻りを見て約一割方の低落を示せるも本品推退を見せず依然保合つては居るが目先時節柄新物入荷も遠からざれば變化を豫想されて居る相場は勞印四十五袋入十二圓二十錢星印五十五袋入十二圓二十六十錢十一圓見當である

澤庵（高見越）魚介類の安價にて野菜は賣行捗々しからずも本品は需要期にて相當賣行なるも多期要氣烈を極め品痛みを生ぜし爲め品薄を告げると行先又底堅く模樣である目下の値段は德島十二圓五十錢山口十二圓寒痛み八圓より上物十二圓五十錢東京物十二圓五十錢地物八圓より八圓五十錢位の唱へである

鮮魚（小締）興浦にて著荷引き續き多量を入れたが需要小活氣を見せて相場稍々頭せるも未だ氣迷い居れが目先鯛腰と觀測さる相場は左の如くである

鯛五十圓小鯛四十五圓もえび六十圓小えび卅圓伊勢えび七十圓ひらす二十四圓さば七圓さはら三十五圓あぢ十五圓ぼら十五圓ひらめ十七圓いか三十五圓にべ十七圓より三十圓

昆布類（小締み）目立つた商談なく市況比較的閑散裡に推移したが新物を入れて相場小綴みを見せたが低價もあるも大體に於て氣配軟弱である利尻二等の品週にて強調の外一高一低あるも大體に於て相場は利尻泊一等二十八圓八十錢二等二十圓五十錢鷺泊一等二十八圓五十錢二等十八圓二十錢板昆布上一貫六圓五十錢細特選四圓磯の雪同三圓寸切昆布同八十錢ヒジキ十貫十九圓を唱へて居る

鹽（弱保合）例年なれば地方の需要減退にて低落する時期なるに本年は比較的天候不順の關係上大した變動を見せず目下保合つて居るが先物原鹽は需要の漸減に依つて下押すならんも再製鹽は保合續ける模樣である値段は元鹽二圓二十錢再製鹽二圓九十錢である

寒天（保合）大取引なく實需の賣行を見せて居るのみで不人氣を持續し來りたるも目先需要期も切迫し本年待ち姿にあるが相場は先月末に比し變化なく保合の狀態にあるが需要の漸增相場の硬化を期待されて居る値段は千本三十六圓より四十五圓題の見當である

株式

現株中値出來值【十六日】

銘柄	前週	今週	高	安
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
殖銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東拓	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京電	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金剛	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

短期取引 乙の部

銘柄	寄付	大引	高値	安値
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
拓新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	十六日前場寄付	前場大引	十六日後場寄付	後場大引
大株	一〇六、六〇		一〇六、六〇	
同新	八六、三〇		八六、七〇	
東株	[illegible]		[illegible]	
鐘紡	二九八、二〇		二九八、九〇	
同新	二七六、三〇		二七六、七〇	
東紡	一二八、一〇		一二八、〇〇	
日魯	一一七、〇〇		一一七、五〇	
株大	一〇五、九〇		一〇五、九〇	
同新	八六、五〇		八六、六〇	

大阪短期取引

銘柄	十六日前場寄付	大引
鐘紡	一〇五、〇〇	一〇五、五〇
同新	三八、八〇	[illegible]
鐘紡	二九八、三〇	二九八、三〇
同新	二七五、六〇	二七七、五〇
東紡	一二七、九〇	一二七、九〇
日魯	一一六、九〇	一一七、五〇

安東株式

	寄付	大引
十五日後場 當限	二〇〇	一九、九〇
十六日前場 安取	二〇、〇〇	一九、九〇

鎭平銀

	寄付	大引
十五日後場 當限	二一八四	二一八三
先限	二一八五	二一八四
十六日前場 當限	二一七七	二一八〇
先限	二一七八	二一七九

前場（一齊安）

昨後場大阪高下に打止めた氣先今朝は大阪大新八十六圓十錢の小安き入電に氣配悪く諸株共に安寄りしたが跡大阪の五圓三十錢より五圓ドタの低落を八れて大新は賣方の投物續出軟派小口の賣物を添へて四圓五十錢迄突込み近來の大手合あり其他の諸株も不氣味の成行を示した

▲大新短期は八十五圓二十錢と五十錢安に始め之れを高値に殘して五圓ドタより四圓九十錢と辷り跡更に大阪安を入れてヂリヽヽ安く四圓五十錢迄突込しも軟派の和喰に五圓ドタ迄戻し四圓九十錢と打止め八十錢方低落

▲仁取親（短期）は寄り付出來ず百〇四圓ドタの一本にて前出來値より九十錢安

▲仁取新（短期）は九圓八十錢と保合に始め跡七十錢と押し四十錢と打止め五十錢安

▲安取（短期）は二十圓六十錢と二十錢安に始め五十錢と押し同値に引け

▲京取は昨一部の買煽りの反動と大阪安に今週四十六圓五十錢と五十錢安に始め四十錢と押したが跡出來ず十錢安

後場（戻る）

前場一齊安の氣先後場は大阪大新八十五圓八十錢寄の小戻しを入れて人氣引立たず目立ちたる商內なかりしも賣物薄のまゝ諸株小締りを呈し閑散氣乘落ち作ら小堅き成行を示した

▲京取は今週四十六圓六十錢と二十錢高に始め七圓ドタ同十錢と吊上げ大引出來ず結局七十錢高

▲其他の週間物は鮮銀新週二十三圓ドタ賣銀來週十二圓七十錢京取來週七圓六十錢と大引

▲大新短期は八十五圓三十錢と四十錢高に始め四十錢と吊上三十錢と押し大引更に二十錢と押して結局卅錢高

▲仁取親は出來ず

▲仁取新短期は三十九圓八十錢と四十錢高に始め九十錢と吊上げ大引八十錢と押し四十錢高

▲安取は二十圓五十錢と同事に始め六十錢と吊上げ同值に引け十錢高

出來高 ▲甲部千九百二十枚▲乙部出來不申累計十二萬四千五百三十二枚累計十一萬四千二百五十枚累計八十萬七千二十枚

算定 仁取百〇五圓、仁新四十圓、安取二十二圓、大新八十五圓

灰汁拔は何時乎

日步 仁取四十五錢仁新一十錢新五錢中新五錢、拓新十五錢安取十五圓大新六十錢鮮新一圓

京取株は昨後場一部の突飛買で値を引立たず漸內でもあつたが今朝は大阪安を入れて人氣の傾向を示した併し並まで押して來た相場が尚下落の方は時の眞價に從ひ出た仕手筋を氣遣ふ位なものでは十日目に何所まで續くかと云ふ事は擧賣りが何所まで續くかと云ふ事は擧賣りが何所まで續くかと云ふ事であり...

[illegible]

株界小言

▲中津留線市君が掘揚買をしたので相場が安くなつた

▲新田耕一君が調査部を新設して弱觀を主張する時は強氣を買ふ時が戻る時は弱氣を賣ふ時は強氣を燒かしたら都合が好いだらう

▲京取五十一圓際以下の買同盟は前布令丈で四十六圓際になつても手擬が見へない株を買ふより甚暇でもする

（有價證券現物賣買）

仁川米豆取引所仲買人 坂倉仲買店 電話三三五〇番

仲買臨時總會

京取市場仲買人組合では十九日午後三時三十分から市場會議室に於て臨時總會を開催し左の件を協議すると

一、服部友清氏との訴訟問題に關する件

一、證券業者樓谷與三郎氏に慰勞金贈與の件

京取外配當落

京取、大新、安取、京電、京與、南鮮鐵道、請毛、藤錢（酒新）の各銘柄は來る十九日後場來週取引より配當落となる

株式會社仁川米豆取引所仲買人 中 仲買店 越大街 仁川海岸町三丁目 電話九〇三番

週間物期差引尻

十六日前場現在

▲京取今週取組高二千八百八十枚內提供株千三百二十枚賣方十四店買方十一店

▲同來週取組高二千九百枚內提供株千九百九十枚賣方十六店買方十八店

▲大新取組高四千七十枚代引千四百三十枚賣方三店買方十八店

▲安取親取組高七千百七十枚代引千六百三十枚賣方十二店買方二十一店

▲仁取親物取組高三千三百三十枚代引千六百四十枚賣方八店買方九店

▲仁取新取組高四千二百枚代引千五百四十枚賣方八店買方十六店

米況【十六日】

仁川期米

前場急變

昨後場阪地の止め安に二十八圓二十二錢と叩かれたる機先にて今朝は大阪寄三十三圓八十七錢と二十三丁安を入れ更に賣方の乘する處となり常二十六圓五十錢中川來ず先小口賣方の嫌氣投げと相俟ち跳ろくも二十七圓九十錢と二十三丁の下放れに寄付きたり

▲第二節 常中出來ず大阪跡九十錢の小戻しに先九十九錢より八圓〇五錢と戻し三錢と引

▲第三節 常中出來ず先〇七錢と始め機先大阪五節四圓十錢の高移りに忽ち二十五錢と反撥し四錢と手堅く引

▲第四節 常中出來ず先二十八錢と始め機先大阪跡一圓四十四錢の高値移りに⑯金總帝克く買進みたる一前安値摑みの節物を呼びて五十五錢と嘆き上げ一錢と引

▲第五節 常出來ず大阪五十六錢の高移りに中五十五錢先六十錢と始め七十錢と反撥の機先大阪更に六十九錢の高移りを受け賣方の狼狽と軟派の九十錢と摟殘し買方の踏揚げの買に八十六錢と戻りて引

▲第六節 常中出來ず先八十八錢より九十錢と締り高値は買方の手控へと軟派の賣物に伸力を殺かれ八十錢と押し四錢と落付模樣に引

仁川米豆取引所仲買人 ㋩ 仲買店 電話六三二番

意外の急變

今朝は阪地が再び四圓の關門を割り二圓八十七錢の不勢を入れて賣方に乘せられ小口買方の狼狽投げと相俟ち二十七圓九十九錢と寄附更に一節の形勢を見せたので氣早の連中は利乘せ賣りを行ふなど一時買方悲觀に見へたるが懸日の阪地が依然急騰して五節四圓際に乘せ跡連商高となつた

阪地高の原因

今朝の阪地高原因に付ては未だ詳報には接しないが或一部に達した入市によると本月中旬頃發表の筈なる內地殘存米額が案外尠ないといふ噂說が傳へられて居たが今朝俄然東京に於て買煽合說の傳はしる跡を見るや噂を合說が稍々具體化したものと想像さるゝと共に今後の阪地高は要するに東京高の氣勢を受けたるに外ならないらしい

樂觀買警戒

現物を中心の買玉が今後如何になるかは一般に問題視せられて居るが當地は京仁にて六萬石の買玉を中心として一般米の取引を追ひつゝ時々押目を買ひ中心の買玉は京仁を全部手仕舞ひたる模樣なれば先限の買玉は當中で受けたる米は渡米に供すべき方針を立てゝ圓持されて居るらしいので目下の物氣は當中の買玉を一時擔げせしめるから樂觀買は警戒すべきであらう

賣買差引殘

買方		賣方	
④	五七〇〇	◎	二二〇〇
㊀	二五〇〇	㊇	一三〇〇
㊂	二〇〇〇	賛	三九〇〇
太	一六〇〇	金	六〇〇〇
川	一〇〇〇	帝	八〇〇〇
丸夕	八五〇〇		
丸一	一〇〇〇		
久	一八〇〇		
㊃	一七〇〇		
丸五	一二〇〇		
丸大	一一〇〇		
㊅	一四〇〇		
㊆	二〇〇〇		
金益	二四〇〇		
丸成	六〇〇〇		
丸張	五〇〇〇		
丸中	四〇〇〇		
丸久	八〇〇〇		
三輪	一三〇〇		

後場一般模樣

▲第一節 常中出來ず先二十八圓七十一錢寄付

▲第二節 常出來ず中六十錢より六十五錢引先七十錢より七十九錢と押し七十一錢引

▲第三節 常中出來ず中七十錢寄止め先七十九錢と締り六錢引

▲第四節 常中出來ず先七十九錢より九十錢と締り六十九錢と押し八十一錢と返し七十四錢引

▲第五節 常中出來ず先七十錢より六十九錢引

株式會社仁川米豆取引所仲買 益 仲買店 電話長七六三

	前場	後場
前場公定値 一節	二八、七〇	二八、七一
二節	二八、〇三	二八、七〇
三節	二八、八四	二八、一一
四節	二八、八〇	二八、一一
五節	二八、八〇	二八、七三
六節	二八、八六	

取組高 二十萬六千八百石

京城穀物

正米現物

期米の強騰を受けたる正米は益々強調に向ひ今朝は丸三等二十七圓六七十錢四等二十七圓二十錢並二十六圓七十錢見當を唱へ居るも一般に取引薄にて弗々小口取引行はれ居る模樣なり

大豆

期米の反騰移りも一向に感じ鈍く弗々小口の取引あるも一般に取引薄にて品不足の行過ぎ採算の折合ひ出來り見込み圓居るも元來が値段の折合ひ仁川の二十圓二十錢迄買唱へなるも一般に取引皆無に等しき有樣である

延 五月末限二十六圓九三 六月中限二十七圓七八 七月中限二十八圓八〇 六月末限二十八圓八〇

仁川正米

定期高を受けたる正米は益々強調に向ひ今朝は丸三等二十七圓六七十錢四等二十七圓二十錢並二十六圓七十錢見當を唱へ居るも一般に取引薄にて弗々小口取引行はれ居る模樣なり

釜山正米

定期の跡高移りに入氣強く二三十錢高の殺氣を都二十七圓八十錢より八圓十錢神力二十七圓二十錢前後にて五千六百俵出來

延 六月中限二十八圓十錢六月末限八圓七十五錢より六十八錢出來高六千石

大豆 十八圓三四十錢見當

群山正米

前場物二十七圓五月末限出來ず六月中限二十七圓八十三錢六月末限八圓十五錢七月中限八圓七十錢出來高四千五百石

仁川米豆取引所仲買人 ㊁ 松田慶之助 電話四〇六番

仁川米豆取引所仲買人 ワツミ 高橋謙三 仁川府海岸町一丁目 電話長九二一五番

大阪三品

十六日前場寄付・大引

限月	寄付	大引
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]

倫敦銀塊相場三十二片十六分の九米棉十錢高

各地期米

十五日後場止め

東京	三五、〇二	大阪	三四、一〇
兵庫	三三、五七	下關	三二、五九
桑名	三三、〇〇	名古屋	三三、八〇
熊本	三二、一七	金澤	三二、六三

桑名期米

	前場	後場
十六日 寄付	三三〇三	三三七九
止め	三三七一	三三八一

下關期米

	寄付	止め
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

兵庫期米

	十六日前場	十六日後場
寄付	三三、四一	三四、七九
止め	三四七一	[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 ⑬ 鳥居仲買店 電話六三八番

大阪期米

	十六日前場	十六日後場
當寄	三一、〇〇	三一、五二
止め	三一、五一	三一、五二
中寄	三三、二三	三三、〇一
止め	三三、一〇	三三、〇八
先寄	三三、八七	三四、六四
二節	八三	六二
三節	八九	六四
四節	九〇	六三
五節	四一一	六二
六節	一一三	六一
七節	一四	[illegible]
八節	五六	[illegible]
九節	六九	[illegible]
十節	七〇	[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 ㊅ 仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長四〇四番三〇番（カネタ）

東京期米

	十六日前場	十六日後場
先寄	三四、八七	三五、六四
二節	九一	六七
三節	五、一一	五八
四節	四〇	六〇
五節	五九	七〇
六節	六五	[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 豐 仲買店 電話長三一

東京正米高

東京正米三十錢高大阪變らず

大邱正米

五月末限二十七圓六月中限二十七圓二十五錢六月末限七圓五十錢より五十五錢七月中限八圓八十錢出來高二萬六千石

新喜劇 文福茶釜一行

初日藝題
1 新喜劇 おそい電氣 全四場
2 社會劇 水の流れ 全二場
3 舊喜劇 新身の一刀 全三場

舶來クサラヌミルク デリゴールド （一名デリチャン）

御愛用者優待 觀劇大會

△御案內▽
會期 自五月十九日至廿八日
時間 每夜五時開幕
會場 京城劇場

△觀劇券▽
入場券は市內至る處藥店及び食料品店で販賣致します
特等券 金一圓五十錢
一等券 金一圓
二等券 金一圓五十錢
三等券 金一圓
以上何れにても一枚御買上毎にデリゴールド（半磅入）一罐進呈
三等券二枚御買上に付（同）一罐進呈

主催 新井藥房 デリゴールド商會

數多くある粉ミルクの中で大醫の推奬あるものは唯本品があるのみ

◎實驗御推奬
小兒科 高洲醫學博士 大家醫學博士 稻葉醫學博士 酒井醫學博士 大久保醫學博士

一本品は米國製で乳質最良粉乳であります
一本品は水又は微溫湯に溶けまして直に元の生乳其儘となります
一本品は牛乳の臭味がありません故乳の嫌ひな老人でも旨しくあがれます
一米國は牛乳が安いので從而本品の値段は日本の生乳の半値以下で牛乳が出來ます
一赤ちゃんのお乳として一脚氣病者、胃腸病者、産前産後
一般滋養用として
一コーヒー紅茶、文化料理用として
世界的大好評の
デリチャンを召しませ
全國藥店食料品店にあり
大罐（生乳一斗五升分）中罐（牛乳三升分）小罐（生乳一升五合分）

△開會中劇場の摸擬店でミルクの御接待を致します
當る五月十九日開演
會場 京城劇場 電話五七八番

通俗太閤記

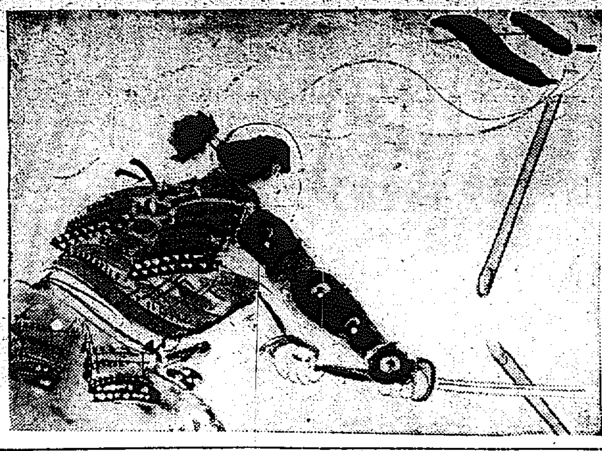
第百十九回

松林伯知講演
加藤由太郎速記

此方は柴田出羽守、御本陣前の御前へ罷り出でると信『如何いたした』出羽出『ハッ、上意の趣き藤吉郎へ申聞けました、藤吉郎恐れ入つたる由を申し早速吹貫を取退けることにいたしました』と云つたのは白地に云へば信長公は一散短慮、何う云ふことの出來ないとも限らないから斯う云つたのだ信『ウム、憎くい奴予の本陣に紛らはしい印などを立てるといふ……』信長公斯う云つてから藤吉郎の陣の方を見ると先より又一段と丈の高い五色の吹貫が風を含んで勇ましい信『出羽』出『ハッ』信『其方が吹貫をば下して來たと申すか』出『誠にございます』信『那れを見ろ』出『ハッ』出羽守見ると又先よりは五六尺も丈の高い吹貫が翩つて居る信『是で其方が吹貫を

く翩へ』」甥『ハッ』中村彌助を呼んで、信『モット幟の丈けを高くして押上げろく』、出羽殿御同道いたさう』直ぐに信長公の御前へ出る信長公御氣色を變へてお在でになる藤吉郎遙か跡に退つて藤『ヘヘツ、態々出羽守殿をお使ひ、藤吉郎お召し、誠に恐れ入りました』信『藤吉其方は予を嘲弄いたし居るな、吹貫は我が本陣より外に用ゆべきものでない、予が許しもいたさんに本陣に紛らはしき吹貫を立て、出羽を以て片付けさするやう申遣はしたるに、飽くまで其方は立て居たな、予を嘲弄いたしたる憎くい奴』藤『ヘエ、

各種の染物は（龍山三角地）京都出張 新見本 種々 京屋京染店 長電話七五二一番 振替京城八壹貳壹番



申込ましたと申すか』出『ヘエッ』折角の御敵、藤吉郎を思はぬやうに取成してやつたのが是では無駄だ信長公非常に御立腹になつて信『出羽、藤吉郎を同道いたせ、彼の申分に由つては其方も捨て置かんぞ、早く引き立て參れ』出『委細承知仕りました』出羽守も少し腹が立つた、再び馬を馳つて再び藤吉郎の陣へやつて來る、藤吉郎見て居つたが、藤『ヤア又來たな、是はく出羽守殿御苦勞に存じます、何か物でもお忘れなすつたか』出『默れ、出羽へなさい、木下氏、吹貫を先刻取片付べき由を申し遣したるに再びお立てになつたな、御主の外御立腹だ、サア本陣へ御同道いたしなさい、上意だ』藤吉郎之れを聞いて、藤『委細承知仕りました、上の上意であれば早速御本陣へ罷り出ませう』と藤吉郎は悠々として立出でやうとしたスルと柴田出羽守、突然腰刀を引抜いてバラリッと文幟を兩斷した、藤吉郎が驚くか、又切つたな……コレ

仁川宮町二〇 荒川眼科耳鼻咽喉科醫院 電話一〇二一番

其お叱りは御尤もでございますが、臣として主君を嘲弄などとは思ひも寄らん、何を嘲弄いたしましたか』信『予が本陣に立て置く吹貫に紛らはしきものを立て居つて、取片付けろと申して出羽を使ひに遣はした、汝其言葉を用ひず、立て置くとは何事だ』藤『イエ決して御本陣のお吹貫と、私陣へ立てた吹貫とはまぎらはしきものではございません』信『黙りを申すな、同じ五色の吹貫ではないか』藤『御本陣吹貫は絹の吹貫でございます、藤吉郎のは錣へ彩色をいたした、錣の吹貫、大いに相違いたさうかと存じます』信『例令何にもいたせ、其形彩色、予が本陣の印と同じ事である、本陣に萬一の事ある時は、何を以て區別をいたす、那れは速かに取片付けよ』藤『仰せ御尤もでございますれど、藤吉郎願ひま

春のワイシャツ 春のネクタイ 新荷着 京城明治町通り 富屋洋品店 電話本局二六九番

するは、今夕方までお許し、お捨て置きの程を願ひます、夕景までには必ず御味方の爲になるべきとがございませう、萬々ケ一此吹貫を立てた甲斐がなければ、身不肖ながら藤吉郎切腹いたして申譯仕ります』信『何分の考へにあの立てたる吹貫に依つて夕景迄にお味方に利益を得ざる時には切腹いたすと申すか』藤『御意にございます夕景までに必ず物の役に立ちます

青島俳諧例會

京城本町青島社俳諧五月例會は來る十七日午後七時より旭町二丁目（京昇久前）大塚久酒家居に於いて開催一般同好家の出席を歡迎する由出席者は十錢程度の自製持寄のこと

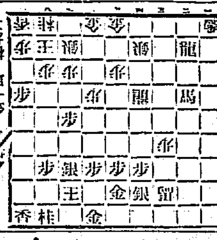
銃 繕 修 は經驗に技術に設備に全鮮一の定評ある 龍山元町 玉井銃砲工場へ 御下命は今スグ 猟期前は込合ます

將棋新手合（五）

於東京日本橋區蠣殻町一ノ一 溝呂木將棋所

▲五段 金子金五郎（東京）
△三段 鈴木 組一（東京）

（圖は前號指了迄の局面）
△持駒 鈴木氏 桂歩四



二十四手 △三九歩▲一六馬△四六ト(チ)▲同龍△同歩▲四七歩△同金△五五桂△五六金▲三七歩△同銀△四七桂△同歩▲同歩△三三歩▲同銀△一二飛▲四三馬△五五桂▲五二馬以下次號

溝呂木七段講評
△(チ)四六馬は要し七四歩と指す處なり

物理療法

エッヂカーレント何々やラヂオレーヤの種類に有らず京城日報社代理部に於て一般に施術す 電本六〇〇九桝内卅四

適應症

◇X線療法……るいれき、瘰癧、わきが、頑れ、肉腫、腸炎、骨膜炎、助膜炎、腹膜炎、神經痛、水虫、にきび、頑固な皮膚病等
▲『K式ヂアテルミー』『ファラヂザチオン』其他の療法……神經痛リウマチス、脚氣、腦神經衰弱、生殖器神經衰弱、胃腸諸病、食道癌病、睾丸炎、關節炎、腰小便、膀胱加答兒、子宮及附屬器諸病、其他慢性内臓病に効有るもの多し
▲冷灼及エッフルビウム療法等……いぼ、あざ、ほくろ、そばかすの除去、禿頭病の毛生、頑固な皮膚病等

ドクトル 女醫 中村齒科醫院 明治町二ノ五 電本一五八三

五月十八日（舊暦四月三日）

▲四緑 ▲暦綱 辰巳 ▲金曜
▲辛卯 ▲赤口 ▲閉 ▲亢宿

▲四緑▲ 大事を企てまじき日自制して常の事に從ふて利あり坤と北が吉
▼五黄▲ 勞して益少き日他人の世話事は失敗に終る北と艮と西が吉
▼六白▲ 肉身の間柄にも爭ひを生じ易い控目が安全南と艮と西が吉
▼七赤▲ 外に出ると動もすれば損する日居宅内は利南と東と西が吉
▼八白▲ 足下の見えぬ事がある約束事は見合するが宜い東と西が吉
▼九紫▲ 日頃の願ひ事は大抵成就する日大に進んで吉丙と壬が吉
▼一白▲ 勇氣に充ち瑞氣堂に溢る日すべて大吉待人來る西と丙が吉
▼二黒▲ 邪道に踏み入易く油斷のならぬ日取引見合せ北と南が吉
▼三碧▲ 景氣づく日目上の援助を受けて出世の端緒を得坤と北が吉

平和大博覽會賞牌受領

最も安心の出來る靴 直接提供

定價表進呈 郵券二錢要

	一號	二號	三號	特別製
ボックス上革	金五圓也	金五圓九十錢	金六圓五十錢也	金八圓五十錢
ボックス半革形	金五圓五十錢	金五圓六十錢也	金六圓五十錢也	金九圓也
ボックス深ゴム	金六圓也	金六圓五十錢	金七圓也	金十圓也
ボックス長靴五寸	金十三圓也	金十五圓也	金十八圓也	金二十圓也

注文の節は代金引換小包送料 靴の寸法足袋の文數をお知らせ下され御送附中上候
東京本所三ノ橋際 松木高等靴製造所 電話本所二〇五番 振替東京二二三番

◀著者十年苦心の考案大辭典▶

本書の信用と名譽

▲帝國大學教授博士及學士共編
八冊の字引を本書一冊に編輯せる大字引
▲文部大臣 鎌田榮吉閣下題字の名著!

◆辭典 ◆新語辭典 ◆成語辭典 ◆故事成語 ◆熟語 ◆外來語 ◆字引 ◆句引

此八冊の字引の文字が本書一冊でスグ引ける

●いろはさへ讀める人ならスグ引ける……[illegible]

時に知らない文字があつても又は讀み方は知つて居るが解釋の分らない時、其の他（英語）で書いてある新語や成語や新字……[illegible]

◆三五判形洋装 ◆總頁數…… 貳千百頁の大冊 ◆定價六圓の處 大阪千部限り出版特別大割引 半價 ◆特製三圓三十錢 ◆並製二圓八十錢 ◆前金注文 送料二十錢 ◆後金引換 送料二十八錢

▲日用文字便覽を附し字引として最も完全を期せり

▲東京市青山六丁目四八 振替東京貳壹八五番 有教社本店

▲自宅にて獨學で短時日間に ▲中學卒業の資格を得んとせば!
◇此の好機を逸せず。今◇スグ即刻に
大日本中學模範講義録に就て勉強せられよ
會長 伯爵 樞密院議員 奥平昌恭閣下
現文部大臣 鎌田榮吉閣下 賛助
文部省社會教育課長 乘杉閣下 御賞賛
唯一の吾國の信用ある本會發行の

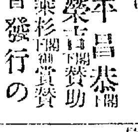
◆文明の今日金儲けをするにも是非共◆立身出世をするにも中學卒業の資格が必要である……[illegible]

▲本會は東京私公中學校の第一流の諸先生を講師とし外に三十餘名の博士及學士先生が責任を……[illegible]

以て懇切に教授される……壹年三ヶ月で卒業……[illegible]
學資貸與 新式通信教授法 ……[illegible]
▲大日本中學會 東京市青山六丁目（電話一七八四）

寫眞術 通信教授
一ヶ月で卒業會員に限り手札形寫眞器七十五錢で分讓
娯樂の最上營業又は就職の近道として最も收益多き絶好の技術で僅か一ヶ月間に卒業せしむ……[illegible]
▲東京寫眞術傳習會

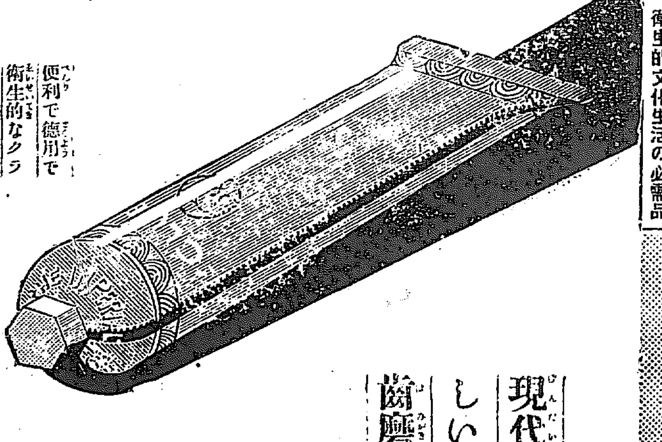
男女 美文手紙集
●應用自由自在 ●艶麗の美文……[illegible]



酸素 製造販賣
龍山京町十五番地ノ一（龍山警察署前）
朝鮮酸素合資會社 電話長龍山八〇二番

資本金五千萬圓 積立金參千五百五十萬圓
京城府南大門通三丁目九番地
株式會社第一銀行京城支店
電話長一〇一番長二八八番 振替貯金京城二一二番
頭取 佐々木勇之助 支配人 永井 啓

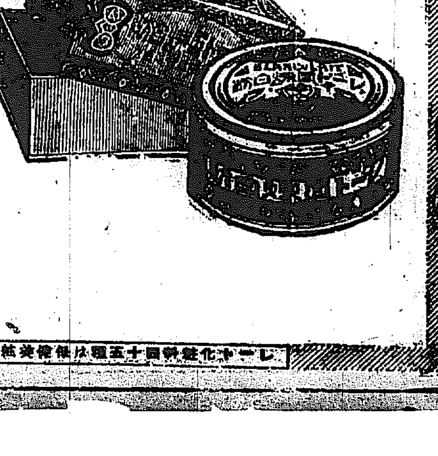
櫻印 本濱かやと疊表
ぬいめなしかや 太陽はちかや お子供用寢台 上敷、花莚 縁布、麻布
定價表御報次第進呈
東京日本橋通四丁目 西川甚五郎
振替東京 四九九二番 電話本局 三三一、三三二、二二四四



御料理 安東縣 太陽樓 電話七三番
御料理 安東縣 由良之助 電話二五九二番
洋傘専門 卸小賣 是非御愛用 洋傘店 サスキ屋號 平壤ミカド百貨店隣

衛生的文化生活の必需品
便利で徳用で衛生的なクラブ煉歯磨の押出チューブ入
現代の文化生活に適合はしい純良且つ經濟的なる歯磨として信用最も厚き
クラブ煉歯磨
眉目清秀 クラブタルカン クラブゼリー クラブ洗粉 カテイ石鹸 髭剃りの膚序

レート煉白粉
びつくりなさる程濃くつきますから適宜に淡めておつけ下さい。光澤のある白さは貴女を艶やかに致します。
專賣特許 若く明い顔になる 無鉛白粉



クレームレート レートフード レート白粉 レートメリー レートポマード レート洗粉
本舖 平尾賛平商店
12.5—27.M
レート化粧料十五種は優秀品